

動薬協会発 9 号
平成24年1月17日

社団法人 日本動物用医薬品協会
会 員 各 位

社団法人 日本動物用医薬品協会
理事長 岡本 雄平
(公印省略)

動物用医薬品等の取扱数量の届出（平成23年分）について（協力依頼）

当協会の業務運営につきましては、日頃からご支援、ご協力を頂きお礼申し上げます。
さて、標記のことについて、農林水産省動物医薬品検査所企画連絡室長より通知がありましたのでお知らせします。

事務連絡
平成24年1月5日

社団法人 日本動物用医薬品協会理事長 殿

農林水産省動物医薬品検査所企画連絡室長

動物用医薬品等の取扱数量の届出（平成23年分）について（協力依頼）

動物用医薬品等取締規則（平成16年農林水産省令第107号）第81条の規定に基づく動物用医薬品等の取扱数量の届出について、平成23年分の届出を別添のとおり動物用医薬品（医薬部外品及び医療機器）製造販売（製造）業者宛てに依頼しました。

つきましては、貴協会会員への周知をよろしくお取り計らい願います。





事務連絡
平成24年1月5日

動物用医薬品等製造販売業者 殿

農林水産省動物医薬品検査所企画連絡室長

動物用医薬品等の取扱数量の届出について

動物用の医薬品、医薬部外品及び医療機器（以下「動物用医薬品等」という。）の製造販売業者におかれましては、動物用医薬品等取締規則（平成16年農林水産省令第107号）第81条の規定に基づき、毎年1月末までに前年の動物用医薬品等の取扱数量等について、農林水産大臣に届出をすることとされています。

平成23年分の動物用医薬品等の取扱数量等については、下記により提出をお願いします。

なお、集計の簡便化を図るため、別紙についてはメール（Wordファイル又はPDFファイル）又は郵送、様式1～4については電子ファイルでの報告をお願いします。

本届出の集計結果等は、動物用医薬品等に係る行政施策の決定や承認審査等における重要な基礎資料となることから、特段の御理解と御協力をお願いします。

記

1. 届出対象期間

平成23年1月1日～平成23年12月31日

2. 届出期限

平成24年1月末日

3. 届出書類（別添を御参照ください。）

届出書類は次の5種類です。動物医薬品検査所ホームページ（<http://www.maff.go.jp/nval/sonota/suryou/index.html>）よりダウンロードしてください。

(1) 別紙（動物用医薬品等の取扱数量の届出）

製造販売業者、製造業者に共通です。様式1～4のシート数を記載してください。

(2) 様式1（製造販売業許可情報入力シート）

取得している製造販売業の許可に関する情報及び動物用医薬品・動物用医薬部外品・動物用医療機器の取扱い品目数について回答する様式です。

(3) 様式2（医薬品・医薬部外品・医療機器情報入力シート）

製造販売承認を有している動物用医薬品・動物用医薬部外品・動物用医療機器及び製造販売を届け出ている動物用医療機器について回答する様式です。製造販売承認又は製造販売届出を複数有している場合、1品目を1シートに御回答ください。

なお、取扱い品目が多い等のため、品目ごとにシートを作成する事が困難な場合には、動物医薬品検査所ホームページから連記用の様式（様式2__連記用）をダウンロードして御使用ください。

(4) 様式3 (製造業許可情報入力シート)

取得している製造業の許可に関する情報及び原薬の取扱い品目の有無について記載する様式です。

(5) 様式4 (原薬情報入力シート)

製造している動物用医薬品等の原薬について回答する様式です。原薬を複数製造している場合、1品目を1シートに御回答ください。

4. 作成書類

様式1～4を作成する際は、「動物用医薬品等取扱数量届出様式の作成の仕方」を御確認ください。

(1) 製造販売業の許可を有する場合

別紙、様式1、様式2

(2) 製造業の許可を有する場合

別紙、様式3、様式4

(3) 製造販売業と製造業の許可を有する場合

別紙、様式1、様式2、様式3、様式4

5. 提出方法

(1) 別紙及び様式1～4 下記へ電子メールで送付してください。

e-mail アドレス suryo@nval.maff.go.jp

(農林水産省動物医薬品検査所 企画連絡室 企画調整課 取扱数量担当)

※電子メールを送付する際は本文と添付ファイルの合計のサイズを10MB(メガバイト)以下としてください。(10MB以上の場合は、分割して送付する等お願いします。)

(2) 別紙(郵送の場合の送付先)

〒185-8511 東京都国分寺市戸倉1-15-1

農林水産省動物医薬品検査所 企画連絡室 企画調整課 取扱数量担当

6. 問い合わせ先

〒185-8511 東京都国分寺市戸倉1-15-1

農林水産省動物医薬品検査所 企画連絡室 企画調整課 取扱数量担当

e-mail suryo@nval.maff.go.jp

TEL 042-321-1861(直通) FAX 042-321-1769

(参考) 動物用医薬品等取締規則(平成16年農林水産省令第107号)(抄)

(医薬品等の取扱数量の届出)

第81条 医薬品等の製造販売業者及び製造業者は、毎年1月末日までに、前年において製造し、及び販売し、又は授与した医薬品等の種類及び数量並びに前年末において在庫する生物学的製剤の種類及び数量を農林水産大臣に届け出なければならない。

〔添付資料一覧〕

動物用医薬品等取扱数量届出様式の作成の仕方

動物用医薬品等取扱数量届出様式（製造販売業）の作成の仕方	．．．．．	1
動物用医薬品等取扱数量届出様式（製造業）の作成の仕方	．．．．．	5
別表1 動物用医薬品等の取扱数量の届出における「種類」の区分け	．．．．．	8
別表2 動物用医薬品等の取扱数量の届出における「製造・輸入」の区分け	．．．	8
別表3 動物用医薬品・医薬部外品に関する日本標準商品分類	．．．．．	9
別表4 動物用生物学的製剤の基準名一覧	．．．．．	13
別表5 医療機器の類別名一覧	．．．．．	20

報告様式

別紙（動物用医薬品等の取扱数量の届出）	．．．．．	21
様式1（製造販売業許可情報入力シート）	．．．．．	22
様式2（医薬品・医薬部外品・医療機器情報入力シート）	．．．．．	24
様式3（製造業許可情報入力シート）	．．．．．	28
様式4（原薬情報入力シート）	．．．．．	29

動物用医薬品取扱数量届出様式（製造販売業）の作成の仕方

1. 全体的留意事項

- (1) 取扱数量の届出のための入力用ファイル（別紙様式）は、Microsoft Excel で作成されています。ファイル名は業者名がわかるような名称としてください。
例）様式1（動物用医薬品株式会社）.xls
- (2) Microsoft Excel の機能を使用すると容易に入力できるので、入力の詳細は市販のマニュアル等を参考にしてください。
- (3) 入力する文字は、数字以外はすべて全角文字を使用してください。数量は半角文字を使用し、文字として記載しないでください。
- (4) 回答欄の中には、クリックすると「リストから選択してください。」と表示が出るものがあります。この場合は回答欄の左隅に表示される▼ボタンをクリックし、表示されるリストから該当項目を選択してください。
表示されたリストが空欄の場合は回答の必要はありません。
項目が表示されるものの選択すべき項目が存在しない場合は担当に御連絡ください。（連絡先：042-321-1861）

2. 「製造販売業許可情報入力シート」の作成の仕方

動物用医薬品等（動物用医薬品、動物用医薬部外品、動物用医療機器）の製造販売許可等について平成23年12月31日時点の状況を御回答ください。

各項目の記入の仕方は下記を参考としてください。

(様式1)

製造販売業許可情報入力シート

報告対象期間 2011 年 平成 23 年 12月31日時点

※動物用医薬品等（動物用医薬品、動物用医薬部外品、動物用医療機器）の製造販売許可等について御回答ください。※
※報告する「▼」ボタンが表示される欄では「▼」ボタンをクリックし、表示されるリストから該当事項を選択してください。

届出者の情報

製造販売業許可等を有している法人等の名称および本届出の届出者について、次の項目を御回答ください。

製造販売業者の情報	製造販売業者名	動物用医薬品株式会社
・報告対象期間の12月31日時点の情報に御回答ください。	所在地住所	東京都〇〇市△△町××丁目××-××
届出製造業者の情報	代表者氏名	佐藤 太郎
・「届出製造業者の情報」欄には半角文字で入力してください。御回答について御回答ください。	氏名	鈴木 太郎
	所属	品質保証課
	電話番号	03-0000-0000
	連絡先メールアドレス	aaa@bbb.co.jp

許可の情報(12月31日時点)

平成17年1月1日以後に取得した製造販売業の許可について御回答ください。

第一種動物用医薬品 製造販売業	許可番号	許可の開始日	平成 18 年	5 月	1 日
18 製造販1第 111 号	許可の終了日	平成 22 年 <td>4 月 <td>30 日</td> <td></td> </td>	4 月 <td>30 日</td> <td></td>	30 日	
	上記許可の異動	休止	平成 19 年 <td>12 月 <td>31 日</td> </td>	12 月 <td>31 日</td>	31 日
		廃止	平成 20 年 <td>1 月 <td>1 日</td> </td>	1 月 <td>1 日</td>	1 日
		再開	平成 22 年 <td>4 月 <td>30 日</td> </td>	4 月 <td>30 日</td>	30 日
第二種動物用医薬品 製造販売業	許可番号	許可の開始日	平成 17 年	4 月	15 日
	製造販2第 1 号	許可の終了日 <td>平成 22 年 <td>4 月 <td>14 日</td> </td></td>	平成 22 年 <td>4 月 <td>14 日</td> </td>	4 月 <td>14 日</td>	14 日
	上記許可の異動	休止	平成 17 年 <td>4 月 <td>15 日</td> </td>	4 月 <td>15 日</td>	15 日
		廃止	平成 20 年 <td>9 月 <td>30 日</td> </td>	9 月 <td>30 日</td>	30 日
		再開	平成 22 年 <td>4 月 <td>15 日</td> </td>	4 月 <td>15 日</td>	15 日
第三種動物用医薬品 製造販売業	許可番号	許可の開始日	平成 20 年	4 月	1 日
20 製造販3第 333 号	許可の終了日 <td>平成 25 年 <td>3 月 <td>31 日</td> <td></td> </td></td>	平成 25 年 <td>3 月 <td>31 日</td> <td></td> </td>	3 月 <td>31 日</td> <td></td>	31 日	
	上記許可の異動	休止	平成 20 年 <td>4 月 <td>1 日</td> </td>	4 月 <td>1 日</td>	1 日
		廃止	平成 22 年 <td>3 月 <td>31 日</td> </td>	3 月 <td>31 日</td>	31 日
		再開	平成 25 年 <td>3 月 <td>31 日</td> </td>	3 月 <td>31 日</td>	31 日

取扱品目数

動物用医薬品等（動物用医薬品、動物用医薬部外品、動物用医療機器）の製造販売業の許可等について御回答ください。

動物用医薬品	動物用医薬部外品	動物用医療機器
生物学的製剤以外	5	承認製造販売業（承認）
生物学的製剤		管理製造業（承認）
動物用医薬部外品	10	一般製造業（届出）
		厚生労働大臣承認医薬品（既服用）
		厚生労働大臣承認医薬品（一般用）

【届出者の情報】

- 1) 製造販売業者の情報
製造販売業者名には、医薬品等の承認を有する（届出を行った）製造販売業者の名称（略称ではなく正式名称）を御回答ください。
- 2) 届出御担当者の情報
不明な点等について、御担当の方に確認させていただく場合があります。
メールアドレスが無い場合は「無し」と記載してください。

【許可の情報】

平成17年1月1日以降に取得した製造販売業の許可について御回答ください。

- 1) 許可番号
指令書に記載された許可番号を入力してください。
- 2) 許可の開始日・許可の終了日
許可の開始日を入力してください（リストから選択することも可能です）。
許可の終了日（許可の開始日の5年後）は自動的に入力されます。
- 3) 許可の異動日（休止・再開・廃止）
取得した製造販売業の許可に異動（休止・再開・廃止）があった場合は、異動の日付を御回答ください。

【取扱品目数】

製造販売承認を有している動物用医薬品等の品目数を承認の種類ごとに御回答ください。

- 1) 品目数
平成23年に製造販売を行っていない場合も、製造販売承認を有していれば品目数に計上してください。

※様式1に計上いただいた動物用医薬品等について、別添「医薬品等情報シート」に平成23年中の取扱数量等を御回答願います。

3. 「医薬品・医薬部外品・医療機器情報シート」の作成の仕方

製造販売承認を有している動物用医薬品等（動物用医薬品・動物用医薬部外品・動物用医療機器）についてご回答ください。各項目の記入の仕方は下記を参考にしてください。輸出専用のもの（国内での製造販売承認のない製剤）については記載の必要はありません。

(様式2)

医薬品・医薬部外品・医療機器情報入力シート

報告対象期間: 2011 年 平成 23 年 1月1日～12月31日

製造販売業者名: 動物用医薬品株式会社

製品名: (1) 動物用医薬品○○○

製造販売承認等の情報

(1)の製品の製造販売承認に関する次の項目について御回答ください。

製造販売承認番号等の記載情報	承認等の種類	(2) 動物用医薬品（生物学的製剤以外）
承認年月日	(3) 平成 19 年 4 月 1 日	承認番号 (承認番号)
承認番号	(4) 19 1111	

製造販売承認等の異動の情報

承継した年月日	(5) 平成 23 年 1 月 1 日	承継元	(6) 承認元
譲渡した年月日	(7) 平成 23 年 10 月 1 日	譲渡先	(8) 動物用医薬品株式会社
譲渡した年月日	(9) 平成 23 年 1 月 1 日		

分類の情報

(1)の製品の分類に関する次の項目について御回答ください。

日本標準商品分類 (外資品)	(10) 動物用医薬品 (分類番号 971)
製剤に用いるサルファ剤 (分類番号 9711)	
剤型	(11) 錠剤
剤型	(12) 錠剤
剤型	(13) 錠剤
剤型	(14) 錠剤
剤型	(15) 錠剤
剤型	(16) 錠剤
剤型	(17) 錠剤
剤型	(18) 錠剤
剤型	(19) 錠剤
剤型	(20) 錠剤
剤型	(21) 錠剤
剤型	(22) 錠剤

【製造販売業者名】

「製造販売業許可情報シート」に記入した「製造販売業者名」を入力してください。

【製品名】

該当品目の品名を省略せずに入力してください。

【製造販売承認の情報】

「製品名」に入力した品目の製造販売承認指令番の記載事項を入力してください。

1) 承認の種類

該当品目の種類を選択してください。種類の区分けについては別表1をご確認ください。

2) 製造・輸入の別

製造工程の全てあるいは、包装・表示・保管より以前の製造工程を国内で行っている場合は「製造」、海外で行っている場合は「輸入」を選択してください。輸出専用のものについては、販売数届出の必要はありません。製造・輸入の区分けについては別表2を御確認ください。

3) 承認取得時の承認年月日および承認番号

を入力してください。

4) 平成23年に承継・譲渡・整理等の異動があった場合は該当項目を入力してください。

【分類の情報】

「製品名」に入力した品目の分類について以下のとおり入力してください。

「日本標準商品分類」は、品目の種類に関係なく全ての品目について御回答ください。

「医薬品・医薬部外品に関する分類」は医薬品および医薬部外品の場合に御回答ください。（医療機器の場合は、回答の必要はありません。）

「医療機器に関する分類」は、医療機器の場合御回答ください。（医薬品・医薬部外品の場合は、回答の必要はありません。）

（日本標準商品分類）

該当品目の分類（日本商品標準分類）を選択してください。

回答欄をクリックすると分類のリストが表示されますので該当する項目を選択してください。

上位の分類を選択することにより下位の分類のリストが作成されますので、上位の分類から順番に選択してください。

「細々分類」は中分類が「病原微生物及び内寄生虫用薬（生物学的製剤、消毒薬を除く。）」の場合のみご回答ください。

日本商品標準分類の詳細については別表3を御参照ください。

（医薬品・医薬部外品に関する分類）

1) 剤種

主成分が単一の場合は「単剤」、主成分が複数の場合は「配合剤」を選択してください。

2) 内用・外用の別
内服薬の場合は「内用」、それ以外は「外用」を選択してください。

3) 投与経路
投与経路をリストの中から選択してください。

4) 剤型
剤型をリストの中から選択してください。

5) 分類名 ※生物学的製剤のみ御回答ください。分類をリストの中から選択してください。

6) 一般的名称 ※生物学的製剤のみ御回答ください。一般的名称をリストの中から選択してください。

「分類名」を選択することにより「一般的名称のリスト」が作成されますので、「分類名」を先に選択してください。
リストに選択すべき項目が無い場合は、「リストに無い場合」欄に該当一般的名称を入力してください。

（医療機器に関する分類）

1) 類別名 ※医療機器の場合のみ御回答ください。類別名をリストの中から選択してください。

2) 一般的名称 ※医療機器の場合のみ御回答ください。指令書又は届出書に記載されている一般的名称を入力してください。

3. 「医薬品・医薬部外品・医療機器情報シート」の作成の仕方(続き)

(2ページ目)

主成分の情報

(1)の医薬品の主成分に関する次の項目について御回答ください。

主成分の情報	主成分が医薬品または医薬部外品の場合	成分名	(23)	スルファモノメトキシ
【主成分が医薬品または医薬部外品の場合】 (23)～(26)、(28)～(31)、(33)～(36)に御回答ください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分を選択してください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分が無い場合は、(27)、(32)、(37)に該当する成分名を入力してください。 【主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合】 (27)、(32)、(37)のリストから主成分を選択してください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分が無い場合は、(27)、(32)、(37)に該当する成分名を入力してください。	主成分が医薬品または医薬部外品の場合	成分名	(24)	リストに無い場合
	成分の含有量	(25)		0.2
【主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合】 (27)、(32)、(37)に御回答ください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分を選択してください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分が無い場合は、(27)、(32)、(37)に該当する成分名を入力してください。	主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合	成分名	(28)	トリメトプリム
	成分の含有量	(29)		0.1
【主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合】 (27)、(32)、(37)に御回答ください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分を選択してください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分が無い場合は、(27)、(32)、(37)に該当する成分名を入力してください。	主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合	成分名	(30)	mg/g (製剤 1gあたりmg)
	成分の含有量	(31)		0.1
【主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合】 (27)、(32)、(37)に御回答ください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分を選択してください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分が無い場合は、(27)、(32)、(37)に該当する成分名を入力してください。	主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合	成分名	(32)	
	成分の含有量	(33)		
【主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合】 (27)、(32)、(37)に御回答ください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分を選択してください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分が無い場合は、(27)、(32)、(37)に該当する成分名を入力してください。	主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合	成分名	(34)	リストに無い場合
	成分の含有量	(35)		
【主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合】 (27)、(32)、(37)に御回答ください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分を選択してください。 (27)、(32)、(37)のリストから主成分が無い場合は、(27)、(32)、(37)に該当する成分名を入力してください。	主成分が生物学的製剤または社会感染菌類以外の場合	成分名	(36)	
	成分の含有量	(37)		

使用用途の情報

(1)の医薬品の使用用途に関する次の項目について御回答ください。

主な使用用途	(20)	畜産用
--------	------	-----

対象動物ごとの推定販売割合

(1)の医薬品の(10)「日本産風邪ウイルス(中分類)」が「病原微生物及び内部寄生虫用薬(生物学的製剤、消毒剤を除く。)」の場合、対象動物ごとの推定販売割合を御回答ください。

対象動物ごとの推定販売割合	乳用牛	(38)	10%	犬・猫	(45)	9%
乳用牛	(40)	9% <td>水産用(淡水)</td> <td>(48)</td> <td>9% </td>	水産用(淡水)	(48)	9%	
馬	(41)	40% <td>水産用(海水)</td> <td>(49)</td> <td>9% </td>	水産用(海水)	(49)	9%	
豚	(42)	50% <td>鑑賞魚</td> <td>(47)</td> <td>9% </td>	鑑賞魚	(47)	9%	
肉用牛	(43)	9% <td>その他</td> <td>(43)</td> <td>9% </td>	その他	(43)	9%	
鹿野鳥	(44)	9% <td>合計</td> <td></td> <td>100%</td>	合計		100%	

【使用用途の情報】

1) 主な使用用途

主な使用用途を「畜産用」、「水産用」または「愛玩動物用」のいずれかから選択してください。医療機器で主な使用用途が畜産用、愛玩動物用と分けられない場合は「共用」を選択してください。

【主な用途・対象動物ごとの推定販売割合の情報】

2) 対象動物ごとの推定販売割合

販売店でおおよその推定販売率を動物種ごと(肉用牛、乳用牛、馬、豚、肉用鶏、産卵鶏、犬・猫、水産用(淡水)、水産用(海水)、観賞魚、その他)に入力してください。国内向けを対象としてください。

【主成分の情報】

生物学的製剤を除く医薬品および医薬部外品の場合は御回答ください。
(生物学的製剤および医療機器の場合は、回答の必要はありません。)

主成分が複数ある場合は配合量が多い順番に3成分まで御回答ください。

主成分が「病原微生物及び内部寄生虫用薬(生物学的製剤、消毒剤を除く。)」の場合、(23)～(26)、(28)～(31)、(33)～(36)に御回答ください。

主成分が上記以外の場合(27)、(32)、(37)に御回答ください。

(A: 主成分が病原微生物及び内部寄生虫用薬(生物学的製剤、消毒剤を除く。)の場合)

1) 主成分名

主成分名をリストの中から選択してください。リストの中に選択すべき項目が無い場合は、「リストに無い場合」欄に該当の主成分名を入力してください。主成分名は承認されている内容を正確に記載してください。

2) 主成分の含有量

製剤 1g または 1ml 当たりの主成分の分量を入力してください。

3) 単位

「主成分の含有量」に入力した分量の単位をmg/g (製剤 1g あたり mg) または mg/l (製剤 1ml あたり mg) から選択してください。

(B: 病原微生物及び内部寄生虫用薬(生物学的製剤、消毒剤を除く。)以外の場合)

1) 主成分名

主成分名を入力してください。

(3ページ目)

取扱数量の情報

(1)の医薬品の取扱い数量(1月1日～12月31日)の製造または輸入に関する次の項目について御回答ください。

製造および輸入	
製造または輸入の有無	(60) 製造または輸入有り
* 報告対象期間中の製造・輸入の有無を御回答ください。 * 「製造および輸入無し」の場合、以下の御回答は必要ありません。	
製造および輸入の単位	(61) kg
* 以下の項目で御回答いただく(製造量・輸入量の単位を御回答ください。取扱いの単位は「kg」にてご回答ください。)	
製造または輸入量	(62) 1,000 kg
輸入量	(63) 500 kg
* 報告対象期間中に製造または輸入した(1)の医薬品の取扱い数量を御回答ください。 * 製造または輸入量(62)で御回答した単位で御回答ください。 * 製造および輸入量の考え方は別紙を参照ください。 * 平均取手で御回答ください。	
販売および輸出	
販売の有無	(64) 販売有り
* 報告対象期間中の販売の有無を御回答ください。「販売無し」の場合、以下の御回答は必要ありません。	
販売および輸出の単位	(65) kg
* 以下の項目で御回答いただく(販売量・輸出量の単位を御回答ください。取扱いの単位は「kg」にてご回答ください。)	
販売および輸出金額	(66) 2,000 kg
販売金額(千円)	(67) 10,000 千円
* 報告対象期間中に販売した(1)の医薬品の取扱い数量を御回答ください。 * 販売金額(66)で御回答した単位で、販売金額は平均取手で御回答ください。 * 販売および輸出金額の考え方は別紙を参照ください。 * 平均取手で御回答ください。	
輸出および輸出金額	(68) 500 kg
輸出金額(千円)	(69) 2,500 千円
* 報告対象期間中に輸出した(1)の医薬品の取扱い数量を御回答ください。 * 輸出金額(68)で御回答した単位で、輸出金額は平均取手で御回答ください。 * 輸出および輸出金額の考え方は別紙を参照ください。 * 平均取手で御回答ください。	
1 輸出先	(70) アメリカ
輸出量	(71) 300 kg
輸出金額(千円)	(72) 60 千円
2 輸出先	(73) 中国
輸出量	(74) 100 kg
輸出金額(千円)	(75) 20 千円
3 輸出先	(76) 韓国
輸出量	(77) 76 kg
輸出金額(千円)	(78) 15 千円
(79) 輸出先	(80) インドネシア

【取扱数量の情報】

平成23年中の製造(輸入)および販売について御回答ください。

1) 製造(輸入)販売の有無

平成23年中に製造(輸入)、販売のいずれかまたは両方行った場合は「製造(輸入)・販売有り」を選択してください。

平成22年中に製造(輸入)、販売のいずれも行っていない場合は「製造(輸入)・販売無し」を選択してください。

「製造・(輸入)・販売無し」の場合、以下の御回答の必要はありません。

2) 単位

後の項目でご回答いただく「生産量または輸入量」、「販売量」、「輸出量」の単位をリストの中から選択してください。

販売形態の単位ではなく、製剤としての単位を御回答ください。

医薬品の場合はなるべく「kg」または「L」のいずれかを単位としてください。

3) 生産量または輸入量

平成23年中に国内用に製造または輸入した数量(輸出用を含む)を半角数字で入力してください。

数量の単位は、「単位」欄で選択した単位としてください。

3. 「医薬品・医薬部外品・医療機器情報シート」の作成の仕方(続き)

(3ページ目)

取込数量の情報
 (1)の取込の報告対象期間中(1月1日～12月31日)の取込または輸入に関する次の項目について御回答ください。

製造または輸入
 製造または輸入の有無 (00) 製造または輸入有り

製造または輸入の単位 (01) 単位 kg

製造または輸入の数量 (02) 1,000 kg
 製造または輸入の数量 (03) 500 kg

販売
 販売の有無 (04) 販売有り

販売の単位 (05) 単位 kg

販売の数量 (06) 2,000 kg
 販売金額 (07) 10,000 千円

輸出
 輸出の有無 (08) 輸出有り

輸出の単位 (09) 単位 kg

輸出の数量 (10) 500 kg
 輸出金額 (11) 2,500 千円

輸出先 (12) アメリカ
 輸出の数量 (13) 300 kg
 輸出金額 (14) 60 千円

輸出先 (15) 中国
 輸出の数量 (16) 100 kg
 輸出金額 (17) 20 千円

輸出先 (18) 韓国
 輸出の数量 (19) 75 kg
 輸出金額 (20) 15 千円

輸出先 (21) インドネシア
 輸出の数量 (22) 25 kg
 輸出金額 (23) 5 千円

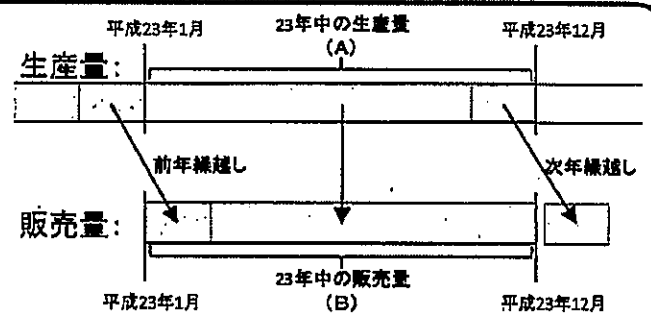
輸出の数量 (24) kg
 輸出金額 (25) 千円

4) 販売量および販売金額
 平成23年中に国内用に販売した数量を半角数字で入力してください。
 数量の単位は、「単位」欄で選択した単位としてください。
 金額の単位は、千円単位としてください。

5) 輸出版量および輸出版金額
 平成23年中の販売量及び販売金額を半角数字で入力してください。
 販売量は、「単位」欄で選択した単位で御回答ください。
 金額は、事業所販売価格(消費税を含む)に数量を乗じた額を千円単位で御回答ください。(製造原価及び輸入原価ではありません。千円未満は四捨五入してください。)
 事業所販売価格とは、いわゆる倉出し価格に消費税を加えた価格であり、企業の販売価格から運賃、積込料、その他諸掛(保険料、倉庫保管料等)を除いた価格です。
 運賃等を除く事が困難な場合は、それらを含めた販売金額の報告を行うこともやむを得ません。

6) 輸出量
 平成23年中に外国に輸出した数量について輸出先別に上位5位まで御回答ください。「輸出先」をリストの中から選択してください。数量の単位は、「単位」欄で選択した単位としてください。金額の単位は、千円単位としてください。

(参考:生産量(輸入量)と販売量の関係)
 「生産量または輸入量」は平成23年1月1日から平成23年12月31日の間に製造または輸入された数量としてください(図中A)。「販売量」は平成23年1月1日から平成23年12月31日の間に販売された数量としてください(図中B)。
 このため、「生産量または輸入量」と「販売量」は必ずしも一致しません。



(4ページ目)

変動要因の情報
 生産量・輸入量・販売量・輸出量が大きく変動した場合、その変動要因を記載してください。記入が不要な場合は空白で構いません。

変動要因の記載欄

チェックポイント
 以下の項目について確認をお願いします。

① 「生産量または輸入量」の数量(02)と「販売量」および「販売金額」の数量(10)の単位が一致しているか。

② 「販売量」と「販売金額」の関係を、実際の販売価格と一致しなくても差し支えありません。なお、この情報は数字のチェックのみに使用されます。集計・公表はされません。

【チェックポイント】
 以下の項目についてチェックし、問題が無い場合は、「確認済み」を選択してください。

- 「生産量または輸入量」と「販売量」の関係(必ずしも一致しません。)
- 「販売量」と「販売金額」の関係。実際の販売価格と一致しなくても差し支えありません。なお、この情報は数字のチェックのみに使用されます。集計・公表はされません。

【変動要因の情報】
 昨年・例年と比べて生産量・輸入量・販売量・輸出量が大きく変動した場合、その変動要因を支援の無い範囲で記載してください。
 なお、この情報は数字のチェックのみに使用されます。集計・公表されません。

動物用医薬品取扱数量届出様式（製造業）の作成の仕方

1 全体的留意事項

- (1) 取扱数量の届出のための入力用ファイル（別紙様式）は、Microsoft Excel で作成されています。ファイル名は業者名がわかるような名称としてください。
例）様式3（動物用医薬品株式会社）.xls
- (2) Microsoft Excel の機能を使用すると容易に入力できるので、入力の詳細は市販のマニュアル等を参考にしてください。
- (3) 入力する文字は、数字以外はすべて全角文字を使用してください。数量は半角文字を使用し、文字として記載しないでください。
- (4) 回答欄の中には、クリックすると「リストから選択してください。」と表示が出るものがあります。この場合は回答欄の左隅に表示される▼ボタンをクリックし、表示されるリストから該当項目を選択して表示されたリストが空欄の場合は回答の必要はありません。
表示されたリスト項目が表示されるものの選択すべき項目が存在しない場合は担当に御連絡ください。（連絡先：042-321-1861）

2. 「製造業許可情報入力シート」の作成の仕方

動物用医薬品等（動物用医薬品、動物用医薬部外品、動物用医療機器）の製造許可等について平成23年12月31日現在の状況を御回答ください。
各項目の記入の仕方は下記を参考としてください。

(様式3)

製造業許可情報入力シート

報告対象期間	2011	年	平成	23	年
--------	------	---	----	----	---

※動物用医薬品等（動物用医薬品、動物用医薬部外品、動物用医療機器）の製造業許可について御回答ください。
※選択すると「▼」ボタンが表示される欄では「▼」ボタンをクリックし、表示されるリストから該当事項を選択してください。

届出者の情報（調査対象期間の12月31日時点）
製造業の許可を受けている法人等の名称および本届出の届出範囲について、次の項目を御回答ください。

製造業者の情報	製造業者の名称	動物用医薬品株式会社
調査対象期間の12月31日時点の情報を御回答ください。	所在地住所	東京都〇〇市△△町×丁目××-××
	代表者氏名	佐藤 太郎
届出製造業者の情報	氏名	佐藤 太郎
「届出製造業者の情報」欄には半角英字を登録された製造業者について御回答ください。	所属	品質保証課
	電話番号	03-000-0000
	連絡先メールアドレス	asa@hib.co.jp

許可の種類（調査対象期間の1月1日～12月31日）
取得している製造業の許可のすべてに「○」を入力してください。

動物用医薬品製造業許可	(1)	<input type="radio"/>
動物用医薬部外品製造業許可	(2)	<input type="radio"/>
動物用医療機器製造業許可	(3)	<input type="radio"/>

原薬の製造の有無
調査対象期間の1月1日～12月31日までの原薬の製造の有無を御回答ください。原薬の原則については下付を参照ください。
なお、「原薬製造無し」の場合、製造数はここで記載です。

原薬の製造（輸入）-販売の有無 (4) 原薬製造有り

※「原薬製造無し」を選択された場合 → 御回答いただくのはここまでで結構です。御協力ありがとうございます。
※「原薬製造有り」を選択された場合 → 様式4（原薬情報入力シート）に調査対象期間の1月～12月までの原薬製造数を御回答ください。
(参考)「原薬」について

「原薬」とは
単一の成分あるいは混合物で、薬理活性を持つ製剤加工前の有形成分や原料等××の原料となるもの。
※動物用医薬品、動物用医薬部外品、動物用医療機器に使用する目的を持つ動物用医薬品および一般医薬品

本届出（動物用医薬品等取扱数量届出）においては、動物用医薬品製造業者が製造した「原薬」について、「原薬1」と「原薬2」に分けて把握します。「原薬」の製造がある場合は別添「原薬情報シート」に御回答をお願いします。

「原薬1」：動物用医薬品製造業者が自社で原薬品を製造するために製造した原薬、または他社からの委託を受けて製造した原薬
「原薬2」：他社に製造することを委託して製造した原薬（他社からの委託を受けて製造したものを除く。）

A: 動物用医薬品製造業者 B: Aと別添の会社の工場またはAに原薬を供給した会社の工場

○: Aとは別の会社の工場

【届出者の情報】

1) 製造業者の情報
製造業者の名称には、製造業の許可を有する法人の名称（略称ではなく正式名称）を御回答ください。

2) 届出ご担当者の情報
本届出に関する以外にご担当者に質問等以外のことはありません。
メールアドレスが無い場合は空欄等としてください。

【許可の種類】

取得している製造許可に「○」を入力してください。
平成23年1月1日から12月31日までの間に1日でも取得している期間があれば該当許可に「○」を入力してください。

【原薬の製造の有無】

平成23年1月1日から12月31日の間に「原薬」を製造又は輸入した場合、「原薬製造有り」を選択してください。
平成22年1月1日から12月31日の間に「原薬」を製造又は輸入していない場合、「原薬製造無し」を選択してください。
「原薬」の定義等は「製造許可情報シート」の「（参考）「原薬」について」を参照ください。

※原薬の製造の有無で「原薬製造無し」を選択された場合は、ご回答頂くのはここまでで結構です。（別添「原薬情報入力シート」の回答は必要ありません。）

※原薬の製造の有無で「原薬製造有り」を選択された場合は、別添「原薬情報入力シート」に平成23年中の取扱数量等を御回答をお願いします

3. 「原薬情報入力シート」の作成の仕方

平成23年中（平成23年1月1日から12月31日）に製造した「原薬」についてご回答ください。各項目の記入の仕方は下記を参考にしてください。輸出専用のもの（国内での製造販売承認のない製剤の原薬）については記載の必要はありません。

原薬情報入力シート (様式4)

報告対象期間 2011 年 平成 23 年 1月1日～12月31日

製造業者名 旭化成ファーマ株式会社

原薬の名称(成分名) (1) XXXXXXXXXX (原薬)

原薬のタイプ

原薬のタイプ	原薬1	(%)
	80	%
原薬2	(%)	
	20	%

分類の情報

日本標準商品分類(分)	(4)	医薬品及び内服薬(動物用医薬品、動物用医薬品)
(4)	(4)	動物用医薬品(動物用医薬品)
(5)	(5)	動物用医薬品(動物用医薬品)
(6)	(6)	動物用医薬品(動物用医薬品)
(7)	(7)	動物用医薬品(動物用医薬品)

【製造業者名】
「製造業許可情報シート」に記入した「製造業者の名称」を入力してください。

【原薬の名称また成分名】
該当原薬の品名または成分名を省略せずに入力してください。

【原薬のタイプ】
該当原薬のタイプ別の生産量の割合を御回答ください。
「原薬1」：自社の他の工場等での医薬品製造のために製造した原薬、または他社からの委託を受けて製造した原薬。
「原薬2」：他社に販売することを目的として製造した原薬
両タイプの割合の合計が100%となるようにしてください。(片方のタイプの場合、該当タイプを100%としてください。)

取扱数量の情報

製造または輸入

製造または輸入の単位	原薬	(kg)
	1,000	kg
	500	kg

販売

販売の単位	原薬	(kg)
	2,000	kg
	10,000	千円

輸出先

輸出先	輸出数量(千円)	(千円)
アメリカ	300	kg
中国	60	千円
韓国	100	kg
インドネシア	60	千円
	75	kg
	15	千円
	25	kg
	5	千円

【分類の情報】
該当原薬の分類について「日本標準商品分類」に基づいてご回答ください。
回答欄をクリックすると分類のリストが表示されますので該当する項目を選択してください。
上位の分類を選択することにより下位の分類のリストが作成されますので、上位の分類(中分類)から順番に選択してください。
「細々分類」は中分類が「病原微生物及び内寄生虫用薬(生物学的製剤、消毒薬を除く。)」の場合のみご回答ください。
日本商品標準分類の詳細は別表3をご参照ください。

【取扱数量の情報】
平成23年中の該当原薬の製造(輸入)および販売についてご回答ください。

1) 単位
後の項目でご回答いただく「生産量または輸入量」「販売量」「輸出量」の単位をリストの中から選択してください。
販売形態の単位ではなく、製剤としての単位を御回答ください。

2) 製造量または輸入量
平成23年中の製造または輸入した該当原薬の数量(輸出を含む)を半角数字で入力してください。
数量は、「単位」欄で選択した単位でご回答ください。

4) 輸出販売量および輸出販売金額
平成23年中に外国に輸出した数量を半角数字で入力してください。

5) 輸出先
平成23年中に外国に輸出した数量について輸出先別に上位5位までご回答ください。「輸出先」をリストの中から選択してください。

3) 販売量および販売金額
平成23年中の販売量及び販売金額を半角数字で入力してください。
販売量は、「単位」欄で選択した単位でご回答ください。自社の他の工場への移送や委託製造の場合は、納めた量をご回答ください。
金額は、事業所販売価格(消費税を含む)に数量を乗じた額を千円単位でご回答ください。(製造原価及び輸入原価ではありません。千円未満は四捨五入してください。)
事業所販売価格とは、いわゆる倉出し価格に消費税を加えた

他諸掛(保険料、倉庫保管料等)を除いた価格です。
運賃等を除く事が困難な場合は、それらを含めた販売金額の報告を行うこともやむを得ません。
自社の他の工場への移送の場合で事業所販売価格がない場合は、内部売上原価(内部製品原価に内部利益を加えたもの)等、事業所販売価格に準じ評価し、ご回答ください。
委託製造の場合、受託製造金額(委託契約等により決められた製造金額単価に数量を乗じた額)としてください。

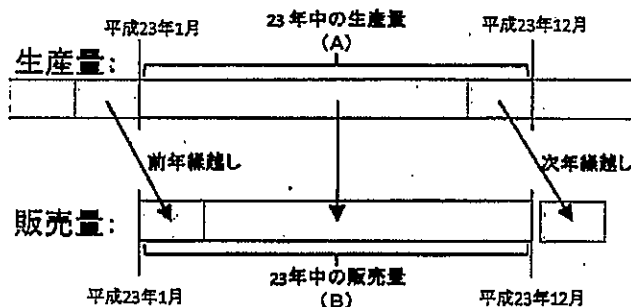
3. 「原薬情報入力シート」の作成の仕方（続き）

（参考：生産量（輸入量）と販売量の関係）

「生産量または輸入量」は平成23年1月1日から平成23年12月31日の間に製造または輸入された数量としてください（図中A）。

「販売量」は平成23年1月1日から平成23年12月31日の間に販売された数量としてください（図中B）。

このため、「生産量または輸入量」と「販売量」は必ずしも一致しません。



<p>（3ページ目）</p> <p>変動要因の情報</p> <p>生産量・輸入量、販売量、輸出量が大きく変動した場合、その変動要因等について支障のない範囲で説明してください。記入例「買入単価による生産増大等」</p>		<p>チェックポイント</p> <p>次の項目について確認をお願いします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>確認のポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「生産量または輸入量」の「数量」(10、(11))と「販売量および販売金額等」の「数量」(14)の単位は英単位ですか。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「販売量および販売金額等」の「数量」(14)と「金額」(19)、「項目」(15)の関係は適切ですか。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「数量」(10)と「金額」(19)の「数量」(10)と「金額」(19)の関係は適切ですか。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	確認のポイント	「生産量または輸入量」の「数量」(10、(11))と「販売量および販売金額等」の「数量」(14)の単位は英単位ですか。		「販売量および販売金額等」の「数量」(14)と「金額」(19)、「項目」(15)の関係は適切ですか。		「数量」(10)と「金額」(19)の「数量」(10)と「金額」(19)の関係は適切ですか。	
項目	確認のポイント									
「生産量または輸入量」の「数量」(10、(11))と「販売量および販売金額等」の「数量」(14)の単位は英単位ですか。										
「販売量および販売金額等」の「数量」(14)と「金額」(19)、「項目」(15)の関係は適切ですか。										
「数量」(10)と「金額」(19)の「数量」(10)と「金額」(19)の関係は適切ですか。										

【変動要因の情報】

昨年・例年と比べて生産量・輸入量・販売量・輸出量が大きく変動した場合、その変動要因を支障の無い範囲で記載してください。

なお、この情報は数字のチェックのみに使用されます。集計・公表されません。

【チェックポイント】

以下の項目についてチェックし、問題が無い場合は、「確認済み」を選択してください。

- 「生産量または輸入量」と「販売量」の関係（必ずしも一致しません。）
- 「販売量」と「販売金額」の関係。実際の販売価格と一致しなくても差し支えありません。なお、この情報は数字のチェックのみに使用されます。集計・公表はされません。

別表 1

動物用医薬品等の取扱数量の届出における「種類」の区分け	
動物用医薬品	専ら動物のために使用されることが目的とされる医薬品。国内で動物用医薬品として製造販売するためには、農林水産大臣による製造販売承認が必要。
動物用医薬部外品	専ら動物のために使用されることが目的とされる医薬部外品。国内で動物用医薬部外品として製造販売するためには、農林水産大臣による製造販売承認が必要。
医療用医薬品	医師等によって使用され又はこれらの者の処方せん若しくは指示によって使用されることを目的として供給される医薬品で、動物に使用する目的をもつ医薬品。国内で医薬品として製造販売するためには、厚生労働大臣による製造販売承認が必要。
一般用医薬品	医療用以外の動物に使用する目的をもつ医薬品。購入する際に医療機関の処方箋を必要としない。国内で一般用医薬品として製造販売するためには、厚生労働大臣による製造販売承認が必要。
動物用医療機器	専ら動物のために使用されることが目的とされる医療機器。高度管理医療機器、管理医療機器、一般医療機器に分類され、高度管理医療機器及び管理医療機器として製造販売するためには、農林水産大臣による製造販売承認が必要。一般医療機器として製造販売するためには、農林水産大臣への製造販売届出が必要。

別表 2

動物用医薬品等の取扱数量の届出における「製造・輸入」の区分け	
製造（製造工程全てあるいは、包装・表示・保管の工程より以前の製造工程を国内で行っている場合）	<ul style="list-style-type: none">・国内において製剤原料から製造し、製造工程を全て国内で行っているもの・海外で製造された製剤原料を輸入するが、それ以降の製造工程を国内で行っているもの・海外において製造した製剤を輸入し、小分け製造以降の工程を国内で行っているもの
輸入（包装・表示・保管の工程より以前の工程を海外で行っている場合、あるいは製造工程全てを海外で行っている場合）	<ul style="list-style-type: none">・海外において製造した最終製品を輸入し、包装・表示・保管の工程を国内で行っているもの・海外において全ての製造工程を行っているもの

中分類	日本標準薬品分類番号	小分類	細分類	細々分類	日本標準薬品分類番号
	9544		塩化カルシウム製剤		9544
	9549		その他の重要塩化カルシウム製剤		9549
	9551	炭素酸化剤(炭素炭素を含む。)	炭素酸化剤		9551
	9552		アルカリ製剤		9552
	9553		塩酸製剤		9553
	9559		その他の炭素酸化剤		9559
	9561	清浄及び洗浄剤	洗剤製剤		9561
	9562		洗剤製剤		9562
	9569		その他の洗剤及び洗浄剤		9569
	9571	消毒剤	アルコール製剤		9571
	9572		消毒剤		9572
	9581	炭素保護剤	炭素保護剤		9581
	9582		炭素保護剤		9582
	9589		その他の炭素保護剤		9589
	9590	その他の外用薬			9590
4) 消化器用					
	9611	ホルモン剤(炭素及び外用に用いるホルモン製剤を除く。)	AGTH製剤		9611
	9612		副腎ホルモ製剤		9612
	9613		甲状腺ホルモ製剤		9613
	9614		甲状腺製剤(甲状腺ホルモ製剤(低単状態ホルモ製剤を除く。))		9614
	9615		たん白(化)ホルモ製剤		9615
	9616		塩化ホルモ製剤		9616
	9619		その他のホルモ製剤		9619
	9621	ビタミン剤	ビタミンA及びB製剤		9621
	9622		ビタミンB製剤		9622
	9623		ビタミンC製剤(ビタミンC製剤を除く。)		9623
	9624		ビタミンD製剤		9624
	9625		ビタミンE製剤		9625
	9626		ビタミンK製剤		9626
	9627		混合ビタミン製剤		9627
	9629		その他のビタミン剤		9629
	9631	薬理製剤	カルシウム製剤(白くろカルシウム及び黒くろカルシウムを除く。)		9631
	9632		カルシウム製剤		9632
	9633		カルシウム製剤		9633
	9634		カルシウム製剤		9634
	9635		カルシウム製剤		9635
	9639		その他の薬理製剤		9639
	9641	補血剤及び血液代用剤	補血剤		9641
	9642		補血剤		9642
	9643		補血剤		9643
	9644		補血剤		9644
	9645		補血剤		9645
	9646		補血剤		9646
	9647		補血剤		9647
	9648		補血剤		9648
	9649		補血剤		9649
	9651	止血剤	止血剤		9651
	9659		その他の止血剤		9659
	9661	筋力増進剤	筋力増進剤		9661
	9669		その他の筋力増進剤		9669
	9671	神経疾患用剤及び解毒剤	神経疾患用剤		9671
	9672		神経疾患用剤		9672
	9673		神経疾患用剤		9673
	9674		神経疾患用剤		9674
	9675		神経疾患用剤		9675
	9676		神経疾患用剤		9676
	9677		神経疾患用剤		9677
	9679		その他の神経疾患用剤及び解毒剤		9679
	9681	アレルギー用剤(非特異性免疫抑制剤を含む。)	アレルギー用剤		9681
	9682		アレルギー用剤		9682
	9683		アレルギー用剤		9683
	9684		アレルギー用剤		9684
	9685		アレルギー用剤		9685
	9686		アレルギー用剤		9686
	9689		その他のアレルギー用剤		9689
	9691	その他の代謝用薬	代謝用薬		9691
	9692		代謝用薬		9692
	9693		代謝用薬		9693
	9694		代謝用薬		9694
	9695		代謝用薬		9695
	9696		代謝用薬		9696
	9697		代謝用薬		9697
	9699		その他の代謝用薬		9699
5) 消化器及び内科学用剤(生物学的製剤を除く。)					
	9711	サルファ剤	注射に用いるサルファ剤		9711
	9712		注射に用いるサルファ剤		9712
	9713		注射に用いるサルファ剤		9713
	9714		注射に用いるサルファ剤		9714
	9715		注射に用いるサルファ剤		9715
	9716		注射に用いるサルファ剤		9716
	9717		注射に用いるサルファ剤		9717
	9718		注射に用いるサルファ剤		9718
	9719		注射に用いるサルファ剤		9719
	9720		注射に用いるサルファ剤		9720
	9721		注射に用いるサルファ剤		9721
	9722		注射に用いるサルファ剤		9722
	9723		注射に用いるサルファ剤		9723
	9724		注射に用いるサルファ剤		9724
	9725		注射に用いるサルファ剤		9725
	9726		注射に用いるサルファ剤		9726
	9727		注射に用いるサルファ剤		9727
	9728		注射に用いるサルファ剤		9728
	9729		注射に用いるサルファ剤		9729
	9730		注射に用いるサルファ剤		9730
	9731		注射に用いるサルファ剤		9731
	9732		注射に用いるサルファ剤		9732
	9733		注射に用いるサルファ剤		9733
	9734		注射に用いるサルファ剤		9734
	9735		注射に用いるサルファ剤		9735
	9736		注射に用いるサルファ剤		9736
	9737		注射に用いるサルファ剤		9737
	9738		注射に用いるサルファ剤		9738
	9739		注射に用いるサルファ剤		9739
	9740		注射に用いるサルファ剤		9740
	9741		注射に用いるサルファ剤		9741
	9742		注射に用いるサルファ剤		9742
	9743		注射に用いるサルファ剤		9743
	9744		注射に用いるサルファ剤		9744
	9745		注射に用いるサルファ剤		9745
	9746		注射に用いるサルファ剤		9746
	9747		注射に用いるサルファ剤		9747
	9748		注射に用いるサルファ剤		9748
	9749		注射に用いるサルファ剤		9749
	9750		注射に用いるサルファ剤		9750
	9751		注射に用いるサルファ剤		9751
	9752		注射に用いるサルファ剤		9752
	9753		注射に用いるサルファ剤		9753
	9754		注射に用いるサルファ剤		9754
	9755		注射に用いるサルファ剤		9755
	9756		注射に用いるサルファ剤		9756
	9757		注射に用いるサルファ剤		9757
	9759		注射に用いるサルファ剤		9759
	9761		注射に用いるサルファ剤		9761
	9762		注射に用いるサルファ剤		9762
	9763		注射に用いるサルファ剤		9763
	9764		注射に用いるサルファ剤		9764
	9765		注射に用いるサルファ剤		9765
	9766		注射に用いるサルファ剤		9766
	9767		注射に用いるサルファ剤		9767
	9769		注射に用いるサルファ剤		9769
	9771		注射に用いるサルファ剤		9771
	9772		注射に用いるサルファ剤		9772
	9773		注射に用いるサルファ剤		9773
	9774		注射に用いるサルファ剤		9774
	9775		注射に用いるサルファ剤		9775
	9776		注射に用いるサルファ剤		9776
	9777		注射に用いるサルファ剤		9777
	9778		注射に用いるサルファ剤		9778
	9779		注射に用いるサルファ剤		9779
	9780		注射に用いるサルファ剤		9780
	9781		注射に用いるサルファ剤		9781
	9782		注射に用いるサルファ剤		9782
	9783		注射に用いるサルファ剤		9783
	9784		注射に用いるサルファ剤		9784
	9785		注射に用いるサルファ剤		9785
	9786		注射に用いるサルファ剤		9786
	9787		注射に用いるサルファ剤		9787
	9789		注射に用いるサルファ剤		9789
	9791		注射に用いるサルファ剤		9791
	9792		注射に用いるサルファ剤		9792
	9793		注射に用いるサルファ剤		9793
	9794		注射に用いるサルファ剤		9794
	9795		注射に用いるサルファ剤		9795
	9796		注射に用いるサルファ剤		9796
	9797		注射に用いるサルファ剤		9797
	9799		注射に用いるサルファ剤		9799
	9801		注射に用いるサルファ剤		9801
	9802		注射に用いるサルファ剤		9802
	9803		注射に用いるサルファ剤		9803
	9804		注射に用いるサルファ剤		9804
	9805		注射に用いるサルファ剤		9805
	9806		注射に用いるサルファ剤		9806
	9807		注射に用いるサルファ剤		9807
	9809		注射に用いるサルファ剤		9809
	9811		注射に用いるサルファ剤		9811
	9812		注射に用いるサルファ剤		9812
	9813		注射に用いるサルファ剤		9813
	9814		注射に用いるサルファ剤		9814
	9815		注射に用いるサルファ剤		9815
	9816		注射に用いるサルファ剤		9816
	9817		注射に用いるサルファ剤		9817
	9818		注射に用いるサルファ剤		9818
	9819		注射に用いるサルファ剤		9819
	9820		注射に用いるサルファ剤		9820
	9821		注射に用いるサルファ剤		9821
	9822		注射に用いるサルファ剤		9822
	9823		注射に用いるサルファ剤		9823
	9824		注射に用いるサルファ剤		9824
	9825		注射に用いるサルファ剤		9825
	9826		注射に用いるサルファ剤		9826
	9827		注射に用いるサルファ剤		9827
	9829		注射に用いるサルファ剤		9829
	9831		注射に用いるサルファ剤		9831
	9832		注射に用いるサルファ剤		9832
	9833		注射に用いるサルファ剤		9833
	9834		注射に用いるサルファ剤		9834
	9835		注射に用いるサルファ剤		9835
	9836		注射に用いるサルファ剤		9836
	9837		注射に用いるサルファ剤		9837
	9839		注射に用いるサルファ剤		9839
	9841		注射に用いるサルファ剤		9841
	9842		注射に用いるサルファ剤		9842
	9843		注射に用いるサルファ剤		9843
	9844		注射に用いるサルファ剤		9844
	9845		注射に用いるサルファ剤		9845
	9846		注射に用いるサルファ剤		9846
	9847		注射に用いるサルファ剤		9847
	9848		注射に用いるサルファ剤		9848
	9849		注射に用いるサルファ剤		9849
	9851		注射に用いるサルファ剤		9851
	9852		注射に用いるサルファ剤		9852
	9853		注射に用いるサルファ剤		9853
	9854		注射に用いるサルファ剤		9854
	9855		注射に用いるサルファ剤		9855
	9856		注射に用いるサルファ剤		9856
	9857		注射に用いるサルファ剤		9857
	9859		注射に用いるサルファ剤		9859
	9861		注射に用いるサルファ剤		9861
	9862		注射に用いるサルファ剤		9862
	9863		注射に用いるサルファ剤		9863
	9864		注射に用いるサルファ剤		9864
	9865		注射に用いるサルファ剤		9865
	9866		注射に用いるサルファ剤		9866
	9867		注射に用いるサルファ剤		9867
	9869		注射に用いるサルファ剤		9869
	9871		注射に用いるサルファ剤		9871
	9872		注射に用いるサルファ剤		9872
	9873		注射に用いるサルファ剤		9873
	9874		注射に用いるサルファ剤		9874
	9875		注射に用いるサルファ剤		9875
	9876		注射に用いるサルファ剤		9876
	9877		注射に用いるサルファ剤		9877
	9879		注射に用いるサルファ剤		9879
	9881		注射に用いるサルファ剤		9881
	9882		注射に用いるサルファ剤		9882

分類	日本標準品 分類番号	小分類	細分類	細々分類	日本標準品 分類番号
日本標準品 分類番号	00000	その他の異物混入検査			00000
	00001	空荷			00001
	00002	空荷			00002
	00003	空荷			00003
	00004	空荷			00004
	00005	空荷			00005
	00006	空荷			00006
	00007	空荷			00007
	00008	空荷			00008
	00009	空荷			00009
	00010	空荷			00010
	00011	空荷			00011
	00012	空荷			00012
	00013	空荷			00013
	00014	空荷			00014
	00015	空荷			00015
	00016	空荷			00016
	00017	空荷			00017
	00018	空荷			00018
	00019	空荷			00019
	00020	空荷			00020
	00021	空荷			00021
	00022	空荷			00022
	00023	空荷			00023
	00024	空荷			00024
00025	空荷			00025	
00026	空荷			00026	
00027	空荷			00027	
00028	空荷			00028	
00029	空荷			00029	
00030	空荷			00030	
00031	空荷			00031	
00032	空荷			00032	
00033	空荷			00033	
00034	空荷			00034	
00035	空荷			00035	
00036	空荷			00036	
00037	空荷			00037	
00038	空荷			00038	
00039	空荷			00039	
00040	空荷			00040	
00041	空荷			00041	
00042	空荷			00042	
00043	空荷			00043	
00044	空荷			00044	
00045	空荷			00045	
00046	空荷			00046	
00047	空荷			00047	
00048	空荷			00048	
00049	空荷			00049	
00050	空荷			00050	
00051	空荷			00051	
00052	空荷			00052	
00053	空荷			00053	
00054	空荷			00054	
00055	空荷			00055	
00056	空荷			00056	
00057	空荷			00057	
00058	空荷			00058	
00059	空荷			00059	
00060	空荷			00060	
00061	空荷			00061	
00062	空荷			00062	
00063	空荷			00063	
00064	空荷			00064	
00065	空荷			00065	
00066	空荷			00066	
00067	空荷			00067	
00068	空荷			00068	
00069	空荷			00069	
00070	空荷			00070	
00071	空荷			00071	
00072	空荷			00072	
00073	空荷			00073	
00074	空荷			00074	
00075	空荷			00075	
00076	空荷			00076	
00077	空荷			00077	
00078	空荷			00078	
00079	空荷			00079	
00080	空荷			00080	
00081	空荷			00081	
00082	空荷			00082	
00083	空荷			00083	
00084	空荷			00084	
00085	空荷			00085	
00086	空荷			00086	
00087	空荷			00087	
00088	空荷			00088	
00089	空荷			00089	
00090	空荷			00090	
00091	空荷			00091	
00092	空荷			00092	
00093	空荷			00093	
00094	空荷			00094	
00095	空荷			00095	
00096	空荷			00096	
00097	空荷			00097	
00098	空荷			00098	
00099	空荷			00099	
00100	空荷			00100	

別表4 生物学的製剤の基準名一覧

分類	番号	基準名等
人用ワクチン	01001	牛ロタウイルス感染症卵黄抗体
	01002	炭疽血清(牛)
	01003	炭疽血清(馬)
	01004	破傷風抗毒素
	01005	馬バラチフス血清
	01006	犬伝染性肝炎血清
	01007	ジステンパー血清
	01008	ジステンパー・犬伝染性肝炎血清
	01009	乾燥犬プラズマ
	01010	抗猫ウイルス性鼻気管炎ウイルス・抗猫カリシウイルス混合抗体(組換え型)
	牛用ワクチン(シードロット製剤を除く)	
	02001	アカバネ病生ワクチン
	02002	アカバネ病(アジュバント加)不活化ワクチン
	02003	イバラキ病生ワクチン
	02004	牛RSウイルス感染症生ワクチン
	02005	牛アデノウイルス感染症生ワクチン
	02006	牛ウイルス性下痢-粘膜炎生ワクチン
	02007	牛コロナウイルス感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	02008	牛コロナウイルス感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	02009	牛伝染性鼻気管炎生ワクチン
	02010	牛伝染性鼻気管炎(アジュバント加)不活化ワクチン
	02011	牛パラインフルエンザ生ワクチン
	02012	牛流行熱生ワクチン
	02013	牛流行熱(アジュバント加)不活化ワクチン
	02014	牛疫生ワクチン
	02015	チュウザン病(アジュバント加)不活化ワクチン
	02016	牛流行熱・イバラキ病混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	02017	アカバネ病・チュウザン病・アイノウイルス感染症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	02018	牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢-粘膜炎・牛パラインフルエンザ混合生ワクチン
	02019	アカバネ病・イバラキ病・牛流行熱・チュウザン病混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	02020	牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢-粘膜炎・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症混合生ワクチン
	02021	牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢-粘膜炎・牛パラインフルエンザ・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン
	02022	牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢-粘膜炎2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	02023	アカバネ病・イバラキ病・チュウザン病・アイノウイルス感染症・ピートノウイルス感染症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	02024	牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢-粘膜炎・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン
	02025	牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢-粘膜炎2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン
	02026	牛サルモネラ症(サルモネラ・ダブリン・サルモネラ・ティフィムリウム)(アジュバント加)不活化ワクチン
	02027	牛大腸菌性下痢症(K99保有全菌体)(アジュバント加)不活化ワクチン
	02028	牛大腸菌性下痢症(K99保有全菌体・Fy保有全菌体・31A保有全菌体・078全菌体)(アジュバント加)不活化ワクチン
	02029	牛ヒストフィルス・ソムニ(ヘモフィルス・ソムナス)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	02030	気腫疽不活化ワクチン
	02031	炭疽生ワクチン
	02032	マンヘミア・ヘモリチカ(1型)感染症不活化ワクチン(油性アジュバント加溶解用液)
	02033	ヒストフィルス・ソムニ(ヘモフィルス・ソムナス)感染症・バクテリウム・ムルチング感染症・マンヘミア・ヘモリチカ感染症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	02034	破傷風(アジュバント加)トキソイド
	02035	牛クロストリジウム感染症3種混合(アジュバント加)トキソイド
	02036	牛クロストリジウム感染症5種混合(アジュバント加)トキソイド
	02037	牛ロタウイルス感染症3価・牛コロナウイルス感染症・牛大腸菌性下痢症(K99精製鞭毛抗原)混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	02038	牛小型ピロプラズマ病スポロゾイト生ワクチン
馬用ワクチン(シードロット製剤を除く)		
	03001	ウエストナイルウイルス感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	03002	馬インフルエンザ不活化ワクチン
	03003	馬ウイルス性動脈炎不活化ワクチン(アジュバント加溶解用液)
	03004	馬鼻肺炎(アジュバント加)不活化ワクチン
	03005	馬ロタウイルス感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	03006	ゲタウイルス感染症不活化ワクチン
	03007	日本脳炎精製不活化ワクチン
	03008	日本脳炎・ゲタウイルス感染症混合不活化ワクチン
	03009	化膿性レンサ球菌トキソイド
	03010	腺疫トキソイド
	03011	馬インフルエンザ不活化・日本脳炎不活化・破傷風トキソイド混合(アジュバント加)ワクチン
豚用ワクチン(シードロット製剤を除く)		
	04001	豚コレラ生ワクチン
	04002	日本脳炎生ワクチン
	04003	日本脳炎不活化ワクチン
	04004	日本脳炎(アジュバント加)不活化ワクチン

分類	番号	基準名等
	04005	豚インフルエンザ(アジュバント加)不活化ワクチン
	04006	豚オーエスキー病(gI-, tk+)生ワクチン
	04007	豚オーエスキー病(gI-, tk+)生ワクチン(アジュバント加溶解用液)
	04008	豚オーエスキー病(gI-, tk-)生ワクチン
	04009	豚オーエスキー病(gI-, tk-)生ワクチン(酢酸トコフェロールアジュバント加溶解用液)
	04010	豚オーエスキー病(gIII-, tk-)生ワクチン
	04011	豚オーエスキー病(gX-, tk-)生ワクチン
	04012	豚オーエスキー病(gI-, gX-) (油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04013	豚サーコウイルス(2型)感染症(1型-2型キメラ)(デキストリン誘導体アジュバント加)不活化ワクチン
	04014	豚サーコウイルス(2型・組換え型)感染症(カルボキシビニルポリマーアジュバント加)不活化ワクチン
	04015	豚サーコウイルス(2型・組換え型)感染症(酢酸トコフェロール・油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04016	豚サーコウイルス(2型)感染症不活化ワクチン(油性アジュバント加懸濁用液)
	04017	豚伝染性胃腸炎生ワクチン(子豚用)
	04018	豚伝染性胃腸炎生ワクチン(母豚用)
	04019	豚伝染性胃腸炎濃縮生ワクチン(母豚用)
	04020	豚伝染性胃腸炎(アジュバント加)不活化ワクチン
	04021	豚バルボウイルス感染症生ワクチン
	04022	豚バルボウイルス感染症不活化ワクチン
	04023	豚バルボウイルス感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04024	豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン
	04025	豚流行性下痢生ワクチン
	04026	日本脳炎・豚バルボウイルス感染症混合生ワクチン
	04027	豚伝染性胃腸炎・豚流行性下痢混合生ワクチン
	04028	日本脳炎・豚バルボウイルス感染症・豚ゲタウイルス感染症混合生ワクチン
	04029	豚丹毒生ワクチン
	04030	豚丹毒(アジュバント加)不活化ワクチン
	04031	豚丹毒(酢酸トコフェロールアジュバント加)不活化ワクチン
	04032	豚丹毒(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04033	豚丹毒(アジュバント加)ワクチン(組み換え型)
	04034	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(2型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	04035	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(5型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	04036	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(2・5型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	04037	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(1・2・5型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	04038	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(1・2・5型)感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04039	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(1・2・5型・組換え型毒素)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	04040	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ感染症(1型部分精製・2型毒素・5型毒素)(酢酸トコフェロールアジュバント加)不活化ワクチン
	04041	豚ストレプトコッカス・スイス(2型)感染症(酢酸トコフェロールアジュバント加)不活化ワクチン
	04042	豚増殖性腸炎生ワクチン
	04043	豚大腸菌性下痢症(K88保有全菌体・K89保有全菌体)(アジュバント加)不活化ワクチン
	04044	豚大腸菌性下痢症(K88ab・K88ac・K99・987P保有全菌体)(アジュバント加)不活化ワクチン
	04045	豚ボルデテラ感染症生ワクチン
	04046	豚ボルデテラ感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	04047	豚ボルデテラ感染症精製(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04048	豚ボルデテラ感染症精製(アフィニティークロマトグラフィー部分精製)不活化ワクチン(油性アジュバント加溶解用液)
	04049	ヘモフィルス・パライス(5型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	04050	ヘモフィルス・パライス(2・5型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	04051	マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	04052	マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症(カルボキシビニルポリマーアジュバント加)不活化ワクチン
	04053	マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04054	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ感染症(1型部分精製・無毒素毒素)・豚丹毒混合(酢酸トコフェロールアジュバント加)不活化ワクチン
	04055	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(1・2・5型)感染症・豚丹毒混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04056	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(1・2・5型・組換え型毒素)感染症・マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	04057	豚ボルデテラ感染症・豚バズツレラ症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	04058	豚ボルデテラ感染症精製(アフィニティークロマトグラフィー部分精製)・豚バズツレラ症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04059	豚ボルデテラ感染症精製・豚バズツレラ症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04060	クロストリジウム・パーフリンゲンズ(アジュバント加)トキソイド
	04061	バズツレラ・ムルトシダ(アジュバント加)トキソイド
	04062	ボルデテラ・ブロンキセプトチカ・バズツレラ・ムルトシダ混合(アジュバント加)トキソイド
	04063	豚大腸菌性下痢症不活化・クロストリジウム・パーフリンゲンズトキソイド混合(アジュバント加)ワクチン
	04064	豚ボルデテラ感染症不活化・バズツレラ・ムルトシダトキソイド混合(アジュバント加)ワクチン
	04065	豚ボルデテラ感染症不活化・バズツレラ・ムルトシダトキソイド混合(油性アジュバント加)ワクチン
	04066	豚ボルデテラ感染症・豚バズツレラ症(全菌体・部分精製トキソイド)混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04067	豚ボルデテラ感染症不活化・バズツレラ・ムルトシダトキソイド・豚丹毒不活化混合(アジュバント加)ワクチン
	04068	豚ボルデテラ感染症・豚バズツレラ症・豚丹毒混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	04069	豚ボルデテラ感染症・豚バズツレラ症(粗精製トキソイド)・マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	04070	豚コレラ・豚丹毒混合生ワクチン
	04071	豚インフルエンザ・豚丹毒混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	04072	豚インフルエンザ・豚バズツレラ症・マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	04073	豚バルボウイルス感染症・豚丹毒・豚レプトスピラ(イクトヘモリジン・カンコーラ・グロブコフェラー・ハーゾフ・ラヂス・ハボモナ)混合(アジュバント加)不活化ワクチン
鶏用ワクチン(シードロット製剤を除く)		
	05001	鶏痘生ワクチン
	05002	産卵低下症候群-1976(アジュバント加)不活化ワクチン

分類	番号	基準名等
	05003	産卵低下症候群-1976(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05004	鳥インフルエンザ(油性アジュバント)不活化ワクチン
	05005	トリニューモウイルス感染症生ワクチン
	05006	トリニューモウイルス感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05007	トリレオウイルス感染症生ワクチン
	05008	トリレオウイルス感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	05009	トリレオウイルス感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05010	ニューカッスル病生ワクチン
	05011	ニューカッスル病組織培養生ワクチン
	05012	ニューカッスル病(アジュバント加)不活化ワクチン
	05013	ニューカッスル病(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05014	鶏伝染性気管支炎生ワクチン
	05015	鶏伝染性気管支炎(アジュバント加)不活化ワクチン
	05016	鶏伝染性喉頭気管支炎生ワクチン
	05017	鶏伝染性喉頭気管支炎凍結生ワクチン
	05018	鶏伝染性ファブリキウス嚢病生ワクチン(大ひな用)
	05019	鶏伝染性ファブリキウス嚢病生ワクチン(ひな用)
	05020	鶏伝染性ファブリキウス嚢病生ワクチン(ひな用中等毒)
	05021	鶏伝染性ファブリキウス嚢病(抗血清加)生ワクチン
	05022	鶏伝染性ファブリキウス嚢病(アジュバント加)不活化ワクチン
	05023	鶏脳脊髄炎生ワクチン
	05024	鶏貧血ウイルス感染症生ワクチン
	05025	マレック病(七面鳥ヘルペスウイルス)生ワクチン
	05026	マレック病(マレック病ウイルス1型)凍結生ワクチン
	05027	マレック病(マレック病ウイルス1型・七面鳥ヘルペスウイルス)凍結生ワクチン
	05028	マレック病(マレック病ウイルス2型・七面鳥ヘルペスウイルス)凍結生ワクチン
	05029	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合生ワクチン
	05030	ニューカッスル病・マレック病(ニューカッスル病ウイルス由来F蛋白遺伝子導入マレック病ウイルス1型)凍結生ワクチン
	05031	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	05032	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05033	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05034	鶏脳脊髄炎・鶏痘混合生ワクチン
	05035	マレック病(マレック病ウイルス2型・七面鳥ヘルペスウイルス)・鶏痘混合生ワクチン
	05036	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・産卵低下症候群-1976混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05037	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・産卵低下症候群-1976混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05038	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏伝染性ファブリキウス嚢病混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05039	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・産卵低下症候群-1976・トリニューモウイルス感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05040	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・産卵低下症候群-1976・トリニューモウイルス感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05041	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・鶏伝染性ファブリキウス嚢病・産卵低下症候群-1976混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05042	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏伝染性ファブリキウス嚢病・産卵低下症候群-1976混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05043	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏伝染性ファブリキウス嚢病・トリニューモウイルス感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05044	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏伝染性ファブリキウス嚢病・トリレオウイルス感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05045	鶏オルトコクシジウム・ライトラケアレ感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05046	鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス)(アジュバント加)不活化ワクチン
	05047	鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス)(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05048	鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス・サルモネラ・ティフイムリウム)(アジュバント加)不活化ワクチン
	05049	鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス・サルモネラ・ティフイムリウム)(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05050	鶏大腸菌症生ワクチン
	05051	鶏大腸菌症(O78全菌体破碎処理)(脂質アジュバント加)不活化ワクチン
	05052	鶏大腸菌症(組換え型F11線毛抗原・ペロ細胞毒性抗原)(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05053	鶏伝染性コリーザ(A型)(アジュバント加)不活化ワクチン
	05054	鶏伝染性コリーザ(C型)(アジュバント加)不活化ワクチン
	05055	鶏伝染性コリーザ(A・C型)(アジュバント加)不活化ワクチン
	05056	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症生ワクチン
	05057	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症凍結生ワクチン
	05058	マイコプラズマ・シビエ感染症凍結生ワクチン
	05059	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
	05060	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05061	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症・マイコプラズマ・シビエ感染症混合生ワクチン
	05062	鶏伝染性コリーザ(A・C型)・マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症混合(アジュバント・油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05063	鶏コクシジウム感染症(ネカトリックス)生ワクチン
	05064	ロイコチトゾーン病(油性アジュバント加)不活化ワクチン(組換え型)
	05065	鶏コクシジウム感染症(アセルブリナ・テネラ・マキシマ)混合生ワクチン
	05066	鶏コクシジウム感染症(アセルブリナ・テネラ・マキシマ・ミチス)混合生ワクチン
	05067	ニューカッスル病・鶏伝染性コリーザ(A型)混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	05068	ニューカッスル病・鶏伝染性コリーザ(A型)乾燥混合不活化ワクチン(アジュバント加溶解用液)
	05069	ニューカッスル病・鶏伝染性コリーザ(A・C型)混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	05070	鶏伝染性気管支炎・鶏伝染性コリーザ(A型)混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	05071	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・鶏伝染性コリーザ(A型)混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	05072	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・鶏伝染性コリーザ(A・C型)液状混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	05073	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・鶏伝染性コリーザ(A・C型菌処理)混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	05074	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・鶏伝染性コリーザ(A・C型)混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05075	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス)混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン

分類	番号	基準名等
	05076	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏伝染性コリーザ(A・C型)混合(アジュバント加)不活化ワクチン
	05077	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏伝染性コリーザ(A・C型)混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05078	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎3価・鶏伝染性コリーザ(A・C型)混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05079	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05080	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎・鶏伝染性コリーザ(A・C型)・マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05081	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏伝染性コリーザ(A・C型)・マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05082	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・産卵低下症病原-1978・鶏伝染性コリーザ(A・C型)・マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
	05083	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎3価・産卵低下症病原-1978・鶏伝染性コリーザ(A・C型)・マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン

水産用ワクチン(シードロット製剤を除く)

06001	イリドウイルス感染症不活化ワクチン
06002	あゆびブリオ病不活化ワクチン
06003	さけ科魚類ピリオ病不活化ワクチン
06004	ひらめβ溶血性レンサ球菌症不活化ワクチン
06005	ぶりα溶血性レンサ球菌症不活化ワクチン
06006	ぶりα溶血性レンサ球菌症不活化ワクチン(注射型)
06007	ぶりα溶血性レンサ球菌症(酵素処理)不活化ワクチン
06008	ぶりピリオ病不活化ワクチン
06009	ぶりα溶血性レンサ球菌症・類結節症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
06010	ぶりピリオ病・α溶血性レンサ球菌症混合不活化ワクチン
06011	ぶりピリオ病・α溶血性レンサ球菌症・ストレプトコッカス・ジスガラクチエ感染症混合不活化ワクチン
06012	ぶりピリオ病・α溶血性レンサ球菌症・類結節症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
06013	イリドウイルス感染症・ぶりα溶血性レンサ球菌症混合不活化ワクチン
06014	イリドウイルス感染症・ぶりピリオ病・α溶血性レンサ球菌症混合不活化ワクチン

犬用ワクチン(シードロット製剤を除く)

07001	犬コロナウイルス感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン
07002	犬伝染性肝炎生ワクチン
07003	犬パルボウイルス感染症生ワクチン
07004	犬パルボウイルス感染症不活化ワクチン
07005	犬パルボウイルス感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
07006	狂犬病組織培養不活化ワクチン
07007	ジステンパー生ワクチン
07008	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症混合生ワクチン
07009	ジステンパー・犬伝染性肝炎混合生ワクチン
07010	ジステンパー・犬パルボウイルス感染症混合生ワクチン
07011	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ混合生ワクチン
07012	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パルボウイルス感染症混合生ワクチン
07013	ジステンパー・犬伝染性肝炎・犬パルボウイルス感染症混合(アジュバント加)ワクチン
07014	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症混合生ワクチン
07015	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬コロナウイルス感染症混合生ワクチン
07016	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬コロナウイルス感染症混合ワクチン
07017	犬レプトスピラ病不活化ワクチン
07018	犬コロナウイルス感染症・犬レプトスピラ病混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
07019	ジステンパー・犬伝染性肝炎・犬レプトスピラ病混合ワクチン
07020	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬レプトスピラ病混合ワクチン
07021	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬レプトスピラ病混合ワクチン
07022	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬レプトスピラ病(カニコラ・コペンハーゲン・ヘブドマチス)混合ワクチン
07023	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬コロナウイルス感染症・犬レプトスピラ病混合ワクチン
07024	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬コロナウイルス感染症・犬レプトスピラ病(カニコラ・コペンハーゲン・ヘブドマチス)混合ワクチン

08001	猫白血病(アジュバント加)不活化ワクチン
08002	猫白血病(アジュバント加)ワクチン(組換え型)
08003	猫汎白血球減少症不活化ワクチン
08004	猫免疫不全ウイルス感染症(アジュバント加)不活化ワクチン
08005	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症混合生ワクチン
08006	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症混合ワクチン
08007	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症2価・猫汎白血球減少症混合ワクチン
08008	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
08009	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
08010	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症・猫白血病(組換え型)混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
08011	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症3価・猫汎白血球減少症・猫白血病(組換え型)混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
08012	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症・猫白血病・猫クラミジア感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
08013	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症3価・猫汎白血球減少症・猫白血病(組換え型)・猫クラミジア感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン
08014	ミンクウイルス性腸炎(アジュバント加)不活化ワクチン
08015	ミンクジステンパー生ワクチン
08016	ミンクボツリヌス症(アジュバント加)不活化ワクチン
08017	緑膿菌感染症全菌体不活化ワクチン
08018	ミンクウイルス性腸炎・ミンクボツリヌス症混合(アジュバント加)不活化ワクチン
08019	カナリア痘生ワクチン

牛用ワクチン(シードロット製剤)

分類	番号	基準名等
	09001	イバラキ病生ワクチン(シード)
	09002	牛RSウイルス感染症生ワクチン(シード)
	09003	牛流行熱(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
	09004	牛ヒストフィルス・ソムニ(ヘモフィルス・ソムナス)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
	09005	炭疽生ワクチン(シード)
	09006	マンヘミア・ヘモリチカ(1型)感染症不活化ワクチン(油性アジュバント加溶解用液)(シード)
	09007	牛クロストリジウム・ボツリヌス(C・D型)感染症(アジュバント加)トキソイド(シード)
	09008	牛クロストリジウム感染症3種混合(アジュバント加)トキソイド(シード)
	09009	牛クロストリジウム感染症5種混合(アジュバント加)トキソイド(シード)

豚用ワクチン(シードロット製剤)

11001	豚コレラ生ワクチン(シード)
11002	日本脳炎生ワクチン(シード)
11003	豚オーエスキー病(g1-, tk+)生ワクチン(シード)
11004	豚オーエスキー病(g1-, tk+)生ワクチン(アジュバント加溶解用液)(シード)
11005	豚オーエスキー病(g1-, tk-)生ワクチン(シード)
11006	豚伝染性胃腸炎濃縮生ワクチン(母豚用)(シード)
11007	豚流行性下痢生ワクチン(シード)
11008	豚伝染性胃腸炎・豚流行性下痢混合生ワクチン(シード)
11009	豚丹毒生ワクチン(シード)
11010	豚丹毒(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11011	豚丹毒(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11012	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(2型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11013	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(2・5型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11014	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(1・2・5型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11015	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(1・2・5型)感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11016	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ感染症(1型部分精製・無毒化毒素)(酢酸トコフェロールアジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11017	豚ストレプトコッカス・スイス(2型)感染症(酢酸トコフェロールアジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11018	豚大腸菌性下痢症(K88保有全菌体・K99保有全菌体)(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11019	豚大腸菌性下痢症(K88ab・K88ac・K99・987P保有全菌体)(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11020	豚ボルデテラ感染症(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11021	豚ボルデテラ感染症精製(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11022	ヘモフィルス・パライス(2・5型)感染症(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11023	マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11024	マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11025	豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ(1・2・5型)感染症・豚丹毒混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
11026	パストツレラ・ムルトシダ(アジュバント加)トキソイド(シード)
11027	ボルデテラ・ブロンキセプチカ・パストツレラ・ムルトシダ混合(アジュバント加)トキソイド(シード)
11028	豚大腸菌性下痢症不活化・クロストリジウム・パーフリンゲンストキソイド混合(アジュバント加)ワクチン(シード)
11029	豚ボルデテラ感染症不活化・パストツレラ・ムルトシダトキソイド混合(アジュバント加)ワクチン(シード)
11030	豚ボルデテラ感染症・豚パストツレラ症(全菌体・部分精製トキソイド)混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)

鶏用ワクチン(シードロット製剤)

12001	鶏痘生ワクチン(シード)
12002	トリニューモウイルス感染症生ワクチン(シード)
12003	ニューカッスル病生ワクチン(シード)
12004	鶏伝染性気管支炎生ワクチン(シード)
12005	鶏伝染性喉頭気管支炎生ワクチン(シード)
12006	鶏伝染性喉頭気管支炎凍結生ワクチン(シード)
12007	鶏伝染性ファブリキウス嚢病生ワクチン(大ひな用)(シード)
12008	鶏伝染性ファブリキウス嚢病生ワクチン(ひな用)(シード)
12009	鶏伝染性ファブリキウス嚢病生ワクチン(ひな用中等毒)(シード)
12010	鶏脳髄膜炎生ワクチン(シード)
12011	鶏貧血ウイルス感染症生ワクチン(シード)
12012	マレック病(七面鳥ヘルペスウイルス)生ワクチン(シード)
12013	マレック病(マレック病ウイルス1型)凍結生ワクチン(シード)
12014	マレック病(マレック病ウイルス2型・七面鳥ヘルペスウイルス)凍結生ワクチン(シード)
12015	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合生ワクチン(シード)
12016	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
12017	鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス)(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
12018	鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス)(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
12019	鶏サルモネラ症(サルモネラ・インファンチリス・サルモネラ・エンテリティディス・サルモネラ・ティフィムリウム)(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
12020	鶏伝染性コリーザ(A・O型)(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
12021	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症生ワクチン(シード)
12022	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症(アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
12023	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
12024	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏伝染性コリーザ(A・O型)混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)
12025	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎2価・鶏伝染性コリーザ(A・O型)・マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症混合(油性アジュバント加)不活化ワクチン(シード)

犬用ワクチン(シードロット製剤)

14001	犬パルボウイルス感染症生ワクチン(シード)
14002	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症混合生ワクチン(シード)

分類	番号	基準名等
	14003	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬コロナウイルス感染症混合ワクチン(シード)
	14004	犬レプトスピラ病不活化ワクチン(シード)
	14005	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬レプトスピラ病混合生ワクチン(シード)
	14006	ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬コロナウイルス感染症・犬レプトスピラ病混合ワクチン(シード)

猫・ミINK用ワクチン(シードロット製剤)

15001	猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症混合生ワクチン(シード)
-------	---

診断液

16001	牛伝染性鼻気管炎診断用蛍光抗体
16002	牛白血病診断用受身赤血球凝集反応抗原
16003	牛白血病診断用酵素抗体反応キット
16004	牛白血病診断用沈降反応抗原
16005	カンピロバクター病診断用菌液
16006	カンピロバクター病診断用蛍光抗体
16007	牛肺炎診断用補体結合反応抗原
16008	炭疽診断用沈降反応血清
16009	ツベルクリン
16010	ブルセラ病急速診断用菌液
16011	ブルセラ病診断用菌液
16012	ブルセラ病診断用抗原固相化酵素抗体反応キット
16013	ブルセラ病診断用補体結合反応抗原
16014	ヨーニン
16015	ヨーネ病診断用抗原固相化酵素抗体反応キット(不活化マイコバクテリウム・フレイ菌可溶性たん白吸収剤)
16016	ヨーネ病診断用抗原固相化酵素抗体反応キット(不活化マイコバクテリウム・フレイ菌可溶性たん白吸収剤)(予備的検出用)
16017	ヨーネ病診断用抗原固相化酵素抗体反応キット(不活化マイコバクテリウム・フレイ菌体吸収剤)
16018	ヨーネ病診断用抗原固相化酵素抗体反応キット(予備的検出用)
16019	ヨーネ病診断用酵素抗体反応キット
16020	ヨーネ病診断用補体結合反応抗原
16021	アナプラズマ病診断用補体結合反応抗原
16022	牛肝てつ症診断用皮内反応抗原
16023	牛海綿状脳症診断用ウエスタンブロット反応キット
16024	牛海綿状脳症診断用酵素抗体反応キット
16025	牛海綿状脳症診断用酵素抗体反応キット(アビジン-ビオチンカップリング法)
16026	牛海綿状脳症診断用酵素抗体反応キット(化学発光)
16027	牛海綿状脳症診断用酵素抗体反応キット(ワンステップ測定法)
16028	牛海綿状脳症診断用酵素抗体反応キット(ワンポット前処理法)
16029	馬伝染性貧血診断用酵素抗体反応キット
16030	馬伝染性貧血診断用沈降反応抗原
16031	馬パラチフス診断用菌液
16032	オーエスキー病ウイルス糖たん白gI抗体識別用酵素抗体反応キット(抗原吸着・ビオチン標識抗体)
16033	オーエスキー病ウイルス糖たん白gI抗体識別用酵素抗体反応キット(抗原吸着・ペルオキシダーゼ標識抗体)
16034	オーエスキー病ウイルス糖たん白gI抗体識別用酵素抗体反応キット(抗体吸着)
16035	オーエスキー病ウイルス糖たん白gI抗体識別用酵素抗体反応キット(抗体吸着・抗原-ペルオキシダーゼ標識抗体)
16036	オーエスキー病ウイルス糖たん白gIII抗体識別用酵素抗体反応キット
16037	オーエスキー病ウイルス糖たん白gX抗体識別用酵素抗体反応キット
16038	オーエスキー病診断用蛍光抗体
16039	オーエスキー病診断用酵素抗体反応キット(確定用)
16040	オーエスキー病診断用酵素抗体反応キット(予備的検出用)
16041	オーエスキー病診断用酵素抗体反応抗原
16042	オーエスキー病診断用ラテックス凝集反応抗原
16043	豚コレラ診断用蛍光抗体
16044	豚コレラ診断用酵素抗体反応キット
16045	豚伝染性胃腸炎診断用蛍光抗体
16046	精製鳥型ツベルクリン
16047	トキソプラズマ病診断用蛍光抗体
16048	A型インフルエンザ診断用酵素標識抗体反応キット
16049	A型インフルエンザ診断用ラテックス標識抗体反応キット
16050	鳥インフルエンザ診断用酵素標識抗体反応キット
16051	鳥インフルエンザウイルスA型遺伝子検出用酵素抗体反応キット
16052	鳥インフルエンザウイルスH5亜型遺伝子検出用酵素抗体反応キット

分類	番号	基準名等
	16053	ニューカッスル病診断用赤血球凝集抗原
	16054	鶏伝染性コリーザ(A型)診断用赤血球凝集抗原
	16055	ひな白痢急速診断用菌液
	16056	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症急速診断用菌液
	16057	マイコプラズマ・シノビエ感染症急速診断用菌液
	16058	犬エキノコックス症診断用ラテックス標識抗体反応キット
	16059	犬ブルセラ病診断用菌液
	16060	破傷風抗毒素原液
	16061	破傷風トキソイド原液
	16062	日本脳炎不活化ワクチン原液
	16063	産卵低下症候群—1976不活化ワクチン原液
	16064	マレック病凍結生ワクチン原液
	16065	アカバネ病診断用抗原
	16066	イバラキ病診断用抗原
	16067	牛RSウイルス感染症診断用抗原
	16068	牛アデノウイルス感染症診断用抗原
	16069	牛ウイルス性下痢—粘膜病診断用抗原
	16070	牛コロナウイルス感染症診断用抗体
	16071	牛伝染性鼻気管炎診断用抗原
	16072	牛パラインフルエンザウイルス感染症診断用抗原
	16073	牛ネオスポラ症診断用抗原
	16074	牛ロタウイルス感染症診断用抗体
	16075	馬インフルエンザ診断用抗原
	16076	馬鼻肺炎診断用抗原
	16077	ゲタウイルス感染症診断用抗原
	16078	日本脳炎診断用抗原
	16079	豚繁殖・呼吸障害症候群診断用抗原
	16080	豚丹毒診断用抗原
	16081	豚アクチノマイセス感染症診断用抗原
	16082	豚バルボウイルス感染症診断用抗原
	16083	豚ヘモフィルス感染症診断用抗原
	16084	豚ボルデテラ感染症診断用抗原
	16085	トキソプラズマ病診断用抗原(皮内反応抗原を除く。)
	16086	トリレオウイルス感染症診断用抗原
	16087	ニューカッスル病診断用抗原
	16088	鶏伝染性気管支炎診断用抗原
	16089	鶏伝染性喉頭気管支炎診断用抗原
	16090	サルモネラ・エンテリテイデイス感染症診断用抗原
	16091	鶏伝染性コリーザ診断用抗原
	16092	鶏伝染性フアブリキウス囊病診断用抗原
	16093	鶏脳脊髄炎診断用抗原
	16094	マイコプラズマ感染症診断用抗原(牛肺疫診断用補体結合反応抗原を除く。)
	16095	ロイコチゾン病診断用抗原
	16096	犬バルボウイルス感染症診断用抗原
	16097	犬バルボウイルス感染症診断用抗体
	16098	ジステンパー診断用抗体
	16099	犬バルボウイルス感染症診断用抗体・犬コロナウイルス感染症診断用抗体複合キット
	16100	犬ブルセラ病診断用抗原
	16101	犬糸状虫症診断用抗原
	16102	犬糸状虫症診断用抗体
	16103	猫白血病診断用抗体
	16104	猫免疫不全症診断用抗原
	16105	猫白血病診断用抗体・猫免疫不全ウイルス感染症診断用抗原複合キット
	16106	血液型判定用抗体

別表5 医療機器の類別名一覧

番号	医療機器の類別名
001	手術台及び治療台
002	医療用照明器具
003	医療用消毒器
004	医療用軟水装置
005	麻酔器並びに麻酔用呼吸器及びガス吸引かん
006	呼吸補助器
007	内臓機能代替器
008	保育器
009	医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
010	放射線治療用器具
011	放射線障害防護用器具
012	理学療法用器具
013	検診器
014	打診器
015	舌圧子
016	保溫器
017	血液検査用器具
018	血圧検査又は脈波検査用器具
019	尿検査又は粪便検査用器具
020	体液検査用器具
021	内臓機能検査用器具
022	検査用器具
023	聴力検査用器具
024	知覚検査又は運動機能検査用器具
025	医療用鏡
026	医療用遠心ちんめん器
027	医療用マイクローム
028	医療用定温器
029	電気手術器
030	結紮器及び縫合器
031	医療用挟持器
032	医療用吸引器
033	気胸器及び気腹器
034	医療用刀
035	医療用ほきみ
036	医療用ピンセット
037	医療用匙
038	医療用鉤
039	医療用鉗子
040	医療用のこぎり
041	医療用のみ
042	医療用剥離子
043	医療用つまみ
044	医療用やすり
045	医療用てこ
046	医療用絞断器
047	注射針及び穿刺針
048	注射筒
049	医療用穿刺器、穿刺器及び穿孔器
050	開創又は開孔用器具
051	医療用喉管及び液体誘導管
052	医療用拡張器
053	医療用消息子
054	医療用捲縮子
055	医療用洗浄器
056	採血又は輸血用器具
057	種痘用器具
058	整形用器具器械
059	歯科用ユニット
060	歯科用エンジン
061	歯科用ハンドピース
062	歯科用切削器
063	歯科用プローブ
064	歯科用探針
065	歯科用充填器
066	歯科用成型器
067	歯科用防護器
068	印象採得又は咬合採得用器具
069	歯科用蒸餾器及び重合器
070	歯科用防護器
071	視力矯正用眼鏡
072	視力矯正用レンズ
073	補聴器
074	医薬品注入器
075	脱疫治療用器具
076	医療用吸入器
077	ハイブレーター
078	家庭用電気治療器
079	指圧代用器
080	はり又はきゅう用器具
081	温気治療器
082	近視矯正器
083	医療用物質生成器
084	前各号に掲げる物の付属品で、厚生省令で定めるもの
101	エックス線フィルム
102	縫合糸
103	手術用手袋及び指サック
104	整形用品
105	副木
106	視力表及び色盲検査表
201	0001～0100に掲げる医療器具に相当する物で、もっぱら動物のために使用されることが目的とされているもの
202	悪酔矯正用器具
203	搾子
204	受精卵移植用器具
205	人工授精用器具
206	製品簡紙及び縫釘
207	投薬器
208	乳房送風器
209	経膣診断用器具
210	検尿用器具
211	尿定用器具
212	0001～0211に掲げる物の付属品で農林水産省令で定めるもの

別紙

年 月 日

動物用医薬品等の取扱数量の届出

農林水産大臣

殿

住所
氏名

動物用医薬品等取締規則第81条に基づき、平成 年における動物用医薬品等の取扱数量を下記のとおり届け出ます。

記

様式1 (製造販売業許可情報入力シート)	シート
様式2 (医薬品・医薬部外品・医療機器情報入力シート)	シート
様式3 (製造業許可情報入力シート)	シート
様式4 (原薬情報入力シート)	シート

※印 (印鑑、社印等) は必須ではありません。

製造販売業許可情報入力シート

報告対象期間 2011 年 平成 23 年 12月31日時点

※動物用医薬品等(動物用医薬品、動物用医薬部外品、動物用医療機器)の製造販売許可等について御回答ください。
※選択すると「▼」ボタンが表示される欄では「▼」ボタンをクリックし、表示されるリストから回答事項を選択してください。

届出者の情報

製造販売許可等を有している法人等の名称および本届出の御担当者について、次の項目を御回答ください。

製造販売業者の情報 ・報告対象期間の12月31日時点の情報を御回答ください。	製造販売業者名	
	所在地住所	
	代表者氏名	
届出御担当者の情報 ・「届出御担当者の情報」欄には本様式を作成された御担当者について御回答ください。	氏名	
	所属	
	電話番号	
	連絡先メールアドレス	

許可の情報(12月31日時点)

平成17年1月1日以降に取得した製造販売業の許可について御回答ください。

第一種動物用医薬品 製造販売業	許可番号		許可の開始日	平成	年	月	日	#
	製販薬Ⅰ第	号	許可の終了日	平成	年	月	日	
			上記許可の異動	休止	平成	年	月	日
				廃止	平成	年	月	日
				再開	平成	年	月	日
第二種動物用医薬品 製造販売業	許可番号		許可の開始日	平成	年	月	日	#
	製販薬Ⅱ第	号	許可の終了日	平成	年	月	日	
			上記許可の異動	休止	平成	年	月	日
				廃止	平成	年	月	日
				再開	平成	年	月	日
動物用医薬部外品製 造販売業	許可番号		許可の開始日	平成	年	月	日	#
	製販外第	号	許可の終了日	平成	年	月	日	
			上記許可の異動	休止	平成	年	月	日
				廃止	平成	年	月	日
				再開	平成	年	月	日
第一種動物用医療機 器製造販売業	許可番号		許可の開始日	平成	年	月	日	#
	製販薬Ⅰ第	号	許可の終了日	平成	年	月	日	
			上記許可の異動	休止	平成	年	月	日
				廃止	平成	年	月	日
				再開	平成	年	月	日
第二種動物用医療機 器製造販売業	許可番号		許可の開始日	平成	年	月	日	#
	製販薬Ⅱ第	号	許可の終了日	平成	年	月	日	
			上記許可の異動	休止	平成	年	月	日
				廃止	平成	年	月	日
				再開	平成	年	月	日
第三種動物用医療機 器製造販売業	許可番号		許可の開始日	平成	年	月	日	#
	製販薬Ⅲ第	号	許可の終了日	平成	年	月	日	
			上記許可の異動	休止	平成	年	月	日
				廃止	平成	年	月	日
				再開	平成	年	月	日

(2 ページ)

取扱品目数

医薬品・医薬部外品・医療機器情報入力シート(医薬品等情報シート)に御回答いただいた品目(承認)の数を同シートの「(2)承認の種類」御とに集計し、次の該当欄に御回答ください。

動物用医薬品		動物用医療機器	
生物学的製剤以外		高度管理医療機器(承認)	
生物学的製剤		管理医療機器(承認)	
動物用医薬部外品		一般医療機器(届出)	
		厚生労働大臣承認医薬品(医療用)	
		厚生労働大臣承認医薬品(一般用)	

※御計上をいただいた動物用医薬品等について、「様式2」(医薬品・医薬部外品・医療機器情報入力シート)に報告対象期間中の取扱数量等を御回答をお願いします。

医薬品・医薬部外品・医療機器情報入力シート

報告対象期間 2011 年 平成 23 年 1月1日～12月31日

製造販売業者名

※製造販売承認等を有している動物用医薬品等(動物用医薬品・動物用医薬部外品・動物用医療機器)について御回答ください。
 ※製造販売承認等を複数有している場合(濃度等の違いにより承認が分かれている場合を含む)、1品目(承認)を1シートに御回答ください。
 ※5品目(承認)以上の製造販売承認等を有している場合は、このシート(医薬品等情報シート)を必要数コピーして御回答ください。
 ※選択すると「▼」ボタンが表示される欄では「▼」ボタンをクリックし、表示されるリストから回答事項を選択してください。

製品名 (1)

製造販売承認等の情報

(1)の製品の製造販売承認等に関する次の項目について御回答ください。

製造販売承認指令書等の記載情報 ・(1)の製品の製造販売承認指令書等に記載してある右欄の項目について御回答ください。 ・承認等番号は年度と番号のみ御回答ください(「動薬第」等は不要です。) ・承認等番号は年度と番号のみ御回答ください	承認等の種類	(2)	
	承認等年月日	(3)	年 月 日
	承認等番号(年度・番号)	(4)	号
製造販売承認等の異動の情報 ・報告対象期間中に(1)の製品の製造販売承認等の承継・譲渡・整理を行った場合は異動日を御回答ください。 ・承継元には承継する前の(1)の製品の製造販売承認等の所有者を御回答ください。 ・譲渡先には譲渡した後の(1)の製品の製造販売承認等の所有者を御回答ください。	承継した場合	承継年月日 (5)	平成 23 年 月 日
		承継元 (6)	
	譲渡した場合	譲渡年月日 (7)	平成 23 年 月 日
		譲渡先 (8)	
	整理した年月日 (9)	平成 23 年 月 日	

分類の情報

(1)の製品の分類に関する次の項目について御回答ください。

- ・(10),(11),(12),(13)及び(18),(19)は上から順番に御回答ください。
- ・リストの中に何も表示されない場合は、その項目は選択する必要はありません(以下同様)。

日本標準商品分類 ・(1)の製品の分類を日本標準分類により御回答ください。 ・(10),(11),(12),(13)の順番に御回答ください。	中分類	(10)	
	小分類	(11)	
	細分類	(12)	
	細々分類	(13)	
医薬品・医薬部外品に関する分類 ・(1)の製品が医薬品または医薬部外品の場合、右欄の分類を御回答ください。 ・(18),(19)は生物学的製剤の場合のみ御回答ください。((18),(19)の順番に御回答ください。)	剤種	(14)	
	内用・外用の別	(15)	
	投与経路	(16)	
	剤型	(17)	
	生物学的製剤の場合	分類 (18)	
	基準名等 (19)		
	リストに無い場合 (20)		
医療機器に関する分類 ・(1)の製品が医療機器の場合、右欄の項目を御回答ください。 ・(22)は製造販売承認指令書に記載されている一般的名称を御回答(入力)ください。	類別名	(21)	
	医療機器の一般的名称	(22)	

(2ページ目)

主成分の情報

(1)の製品の主成分に関する次の項目について御回答ください。

主成分の情報 ・(1)の製品の主成分を最大3成分まで御回答ください。 ・配合量が多い順番に御回答ください。 【「分類の情報」の(10)「日本商品標準分類(中分類)」が「病原微生物及び内寄生虫用薬(生物学的製剤, 消毒薬をのぞく。)」の場合】 ・(23)~(26)、(28)~(31)、(33)~(36)に御回答ください。 ・(23)、(28)、(33)のリストから主成分を選択してください。 ・(23)、(28)、(33)のリストに主成分が無い場合は、(24)、(29)、(34)に該当主成分名を入力してください。 ・主成分の含有量を(26)、(31)、(36)の単位で御回答ください。 ・単位は主成分毎に異なっても差し支えありません。 【主成分が上記以外の場合】 (27)、(32)、(37)に主成分を入力してください。	主成分1	(10)が「病原微生物及び内寄生虫用薬(生物学的製剤, 消毒薬をのぞく。)」の場合	成分名	(23)		
			リストに無い場合	(24)		
			成分の含有量	(25)		
			単位	(26)		
		上記以外の場合		成分名	(27)	
	主成分2	(10)が「病原微生物及び内寄生虫用薬(生物学的製剤, 消毒薬をのぞく。)」の場合	成分名	(28)		
			リストに無い場合	(29)		
			成分の含有量	(30)		
			単位	(31)		
		上記以外の場合		成分名	(32)	
	主成分3	(10)が「病原微生物及び内寄生虫用薬(生物学的製剤, 消毒薬をのぞく。)」の場合	成分名	(33)		
			リストに無い場合	(34)		
		成分の含有量	(35)			
		単位	(36)			
	上記以外の場合		成分名	(37)		

使用用途の情報

(1)の製品の使用用途に関する次の項目について御回答ください。

主な使用用途

主な使用用途	(38)
--------	------

対象動物ごとの推定販売割合

(「分類の情報」の(10)「日本商品標準分類(中分類)」が「病原微生物及び内寄生虫用薬(生物学的製剤, 消毒薬をのぞく。)」が主成分ではない場合、御回答の必要はありません。)

対象動物ごとの推定販売割合 ・(1)の製品の販売店等における動物種御との販売率(推定で結構です。)を御回答ください。 ・(10)日本商品標準分類:中分類が「病原微生物及び内寄生虫用薬(生物学的製剤, 消毒薬をのぞく。)」が主成分の場合のみ御回答ください。	肉用牛	(39)	%	犬・猫	(45)	%
	乳用牛	(40)	%	水産用(淡水)	(46)	%
	馬	(41)	%	水産用(海水)	(47)	%
	豚	(42)	%	鑑賞魚	(48)	%
	肉用鶏	(43)	%	その他	(49)	%
	産卵鶏	(44)	%	合計		%

(3ページ目)

取扱数量の情報

(1)の製品の報告対象期間中(1月1日~12月31日)の製造また輸入に関する次の項目について御回答ください。

製造および輸入

製造または輸入の有無	(50)	
・報告対象期間中の製造・輸入の有無を御回答ください。 ・「製造および輸入無し」の場合、以下の御回答は必要ありません。		
製造量および輸入量の単位	単位	(51)
・以下の項目で御回答いただく製造量・輸入量の単位を御選択ください。医療機器の単位は「台(個)」としてください。		
製造量または輸入量	製造量	(52)
	輸入量	(53)
・報告対象期間中に生産または輸入した(1)の製品の数量を御回答ください。 ・製造量または輸入量を(51)で選択した単位で御回答ください。 ・製造量及び輸入量の考え方は別紙を参照ください。 ・半角数字で御回答ください。		

販売および輸出

販売の有無	(54)				
・報告対象期間中の販売の有無を御回答ください。「販売無し」の場合、以下の御回答は必要ありません。					
販売量および輸出量の単位	単位	(55)			
・以下の項目で御回答いただく販売量・輸出量の単位を御選択ください。医療機器の単位は「台(個)」としてください。 ・報告対象期間中に製造または輸入がある場合、販売量の単位(51)と製造量・輸入量の単位(55)は同じにしてください。					
販売量および販売金額	販売量	(56)			
	販売金額(千円)	(57)			
・報告対象期間中に販売した(1)の製品の数量を御回答ください。 ・販売量を(55)で選択した単位で、販売金額は千円単位で御回答ください。 ・販売量および販売金額の考え方は別紙を参照ください。 ・半角数字で御回答ください。					
輸出量および輸出金額	輸出量	(58)			
	輸出金額(千円)	(59)			
・報告対象期間中に販売したもののうち、輸出した(1)の製品の数量を御回答ください。 ・輸出版売量を(55)で選択した単位で、販売金額は千円単位で御回答ください。 ・輸出版売量および輸出版売金額の考え方は別紙を参照してください。 ・数量および金額は半角数字で回答ください。	1位	輸出先	(60)		
			輸出量	(61)	
			輸出金額(千円)	(62)	千円
		2位	輸出先	(63)	
			輸出量	(64)	
			輸出金額(千円)	(65)	千円
		3位	輸出先	(66)	
			輸出量	(67)	
			輸出金額(千円)	(68)	千円
		4位	輸出先	(69)	
			輸出量	(70)	
			輸出金額(千円)	(71)	千円
		5位	輸出先	(72)	
			輸出量	(73)	
			輸出金額(千円)	(74)	千円

製造業許可情報入力シート

報告対象期間 2011 年 平成 23 年

※動物用医薬品等(動物用医薬品、動物用医薬部外品、動物用医療機器)の製造業許可について御回答ください。
※選択すると「▼」ボタンが表示される欄では「▼」ボタンをクリックし、表示されるリストから回答事項を選択してください。

届出者の情報(調査対象期間の12月31日時点)

製造業の許可を有している法人等の名称および本届出の御担当者について、次の項目を御回答ください。

製造業者の情報 ・調査対象期間の12月31日時点の情報を御回答ください。	製造業者の名称	
	所在地住所	
	代表者氏名	
届出御担当者の情報 ・「届出御担当者の情報」欄には本様式を作成された御担当者について御回答ください。	氏名	
	所属	
	電話番号	
	連絡先メールアドレス	

許可の情報(調査対象期間の1月1日～12月31日)

取得している製造業の許可のすべてに「○」を入れてください。

動物用医薬品製造業許可	(1)	
動物用医薬部外品製造業許可	(2)	
動物用医療機器製造業許可	(3)	

原薬の製造の有無

調査対象期間の1月1日～12月31日までの原薬の製造の有無を御回答ください。原薬の説明については下枠を参照願います。
なお、「原薬製造無し」の場合、御回答はここまでで結構です。

原薬の製造(輸入)・販売の有無	(4)	
-----------------	-----	--

- ※「原薬製造無し」を選択された場合 → 御回答いただくのはここまでで結構です。御協力ありがとうございます。
- ※「原薬製造有り」を選択された場合 → 様式4(原薬情報入力シート)に調査対象期間の1月～12月までの原薬製造量等を御回答願います。

(参考)「原薬」について

「原薬」とは

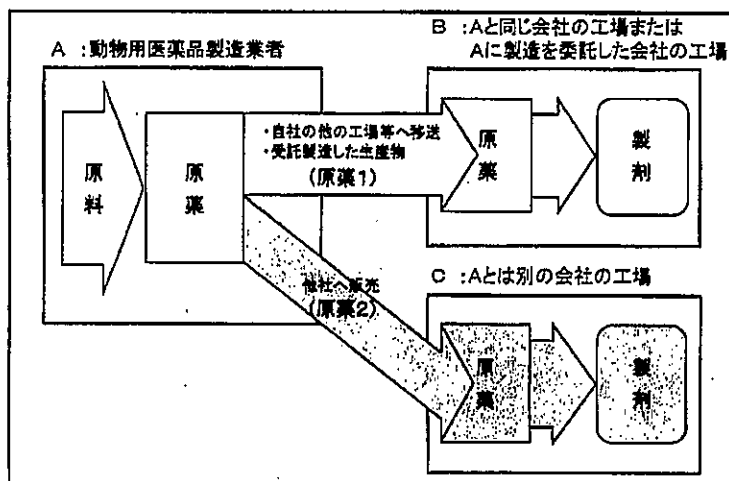
単一の成分あるいは混合物で、薬理活性を持つ製剤加工前の有効成分で医薬品等※の原料となるもの。

※動物用医薬品、動物用医薬部外品、動物に使用する目的を持つ医療用医薬品および一般用医薬品

本届出(動物用医薬品等取扱数量届出)においては、動物用医薬品製造業者が製造した「原薬」について、「原薬1」と「原薬2」に分けて把握します。「原薬」の製造がある場合は別添「原薬情報シート」に御回答お願します。

「原薬1」: 動物用医薬品製造業者が自社で医薬品を製造するために製造した原薬、または他社からの委託を受けて製造した原薬

「原薬2」: 他社に販売することを目的として製造した原薬(他社からの委託を受けて製造したものを除く。)



原薬情報入力シート

報告対象期間 2011 年 平成 23 年 1月1日～12月31日

製造業者名

※製造している原薬について御回答ください。 ※1品目(原薬)を1シートに御回答ください。
 ※複数の原薬を製造している場合は、このシート(原薬情報入力シート)を必要数コピーして御回答ください。
 ※選択すると「▼」ボタンが表示される欄では「▼」ボタンをクリックし、表示されるリストから回答事項を選択してください。

原薬の名称(成分名)

(1)

原薬のタイプ

(1)の原薬について、原薬のタイプ(下参照願います。)別の生産量の割合を御回答ください。

「原薬1」: 自社の他の工場等で医薬品製造のために製造した原薬、または他社からの委託を受けて製造した原薬
 「原薬2」: 他社に販売することを目的として製造した原薬(他社からの委託を受けて製造したものを除く。)

原薬のタイプ	原薬1	(2)	%
	原薬2	(3)	%

分類の情報

(1)の原薬の分類に関する次の項目について御回答ください。

- ・(4),(5),(6),(7)は上から順番に御回答ください。
- ・リストの中に何も表示されない場合は、その項目は選択する必要はありません

日本標準商品分類	(中分類)	(4)
・(1)の製品の分類を日本標準分類により御回答ください。 ・(11), (12), (13), (14)の順番に御回答ください。	(小分類)	(5)
	(細分類)	(6)
	(細々分類)	(7)

取扱数量の情報

(1)の原薬の製造等に関する次の項目について御回答ください。

製造および輸入

製造または輸入の有無	(8)	
・報告対象期間中の製造・輸入の有無を御回答ください。 ・「製造および輸入無し」の場合、以下の御回答は必要ありません。		
製造量および輸入量の単位	単位	(9)
・以下の項目で御回答いただく製造量・輸入量の単位を御選択ください。		
製造量または輸入量	製造量	(10)
	輸入量	(11)
・報告対象期間中に生産または輸入した(1)の製品の数量を御回答ください。 ・製造量または輸入量を(9)で選択した単位で御回答ください。 ・製造量及び輸入量の考え方は別紙を参照ください。 ・半角数字で御回答ください。		

販売および輸出

販売の有無	(12)	
・報告対象期間中の販売の有無を御回答ください。「販売無し」の場合、以下の御回答は必要ありません。		
販売量および輸出量の単位	単位	(13)
・以下の項目で御回答いただく販売量・輸出量の単位を御選択ください。医療機器の単位は「点」としてください。 ・報告対象期間中に製造または輸入がある場合、販売量の単位(51)と製造量・輸入量の単位(9)は同じにしてください。		
販売量及び販売金額等	販売量	(14)
	販売金額(千円)	(15)
・報告対象期間中の1月1日～12月31日に販売した(1)の原薬の数量を御回答ください。 ・販売量は(13)で選択した単位で、販売金額は千円単位で御回答ください。 ・自社の他の工場等への移送の場合、数量は移送した数量、金額は内部売上原価(内部製品原価に内部利益を加えたもの)としてください。なお、内部利益が把握できない場合は内部製品原価の報告を行うこともやむを得ません。 ・受託製造の場合、報告対象期間中に委託元に納めた数量及び受託製造金額(受委託契約等により決められた製造金額単価に数量を乗じた額)としてください。 ・販売量および販売金額の考え方は別紙を参照ください。・半角数字で御回答ください。		

輸出量および輸出金額	輸出量	(16)	
	輸出金額(千円)	(17)	千円
・報告対象期間中の1月1日～12月31日に販売したもののうち、輸出した(1)の原薬の数量を御回答ください。 ・輸出量は(13)で選択した単位で、輸出金額は千円単位で御回答ください。 ・輸出量および輸出金額の考え方は別紙を参照してください。 ・数量および金額は半角数字で御回答ください。	1位	輸出先	(18)
		輸出量	(19)
		輸出金額(千円)	(20)
	2位	輸出先	(21)
		輸出量	(22)
		輸出金額(千円)	(23)
	3位	輸出先	(24)
		輸出量	(25)
		輸出金額(千円)	(26)
	4位	輸出先	(27)
		輸出量	(28)
		輸出金額(千円)	(29)
	5位	輸出先	(30)
		輸出量	(31)
		輸出金額(千円)	(32)

(3ページ目)

変動要因の情報

生産量・輸入量、販売量、輸出量が大きく変動した場合、その変動要因等を支障のない範囲で御回答ください。
記入例) 需要増による生産拡大等

チェックポイント

次の項目について確認をお願いします。

確認	確認のポイント
	「製造量または輸入量」の(項目(10)、(11))と「販売量および販売金額等」の「数量」(項目(14))の関係は妥当性ですか。
	「販売量および販売金額等」の「数量」(項目(14))と「金額(千円)」(項目(15))の関係は妥当ですか。
	(参考)「金額」(項目(14)) / 「販売量」(項目(15)) 円/

昨年（22年分）報告様式からの変更点について

昨年（平成22分）報告様式からの変更点は、以下のとおりです。

(1) (様式2の1ページ目) 「承認等の種類」

「製造販売承認等の種類」の「承認等の種類」（項目番号(2)）の選択枝の中から、「動物用医薬品等輸出届」を削除しました。
輸出専用動物用医薬品等（日本国内で製造販売承認のないもの）については取扱数量の報告は不要となりました。

(2) (様式2の2ページ目) 「主成分の情報」

「主成分の情報」では、抗生物質または合成抗菌剤に加えて、駆虫剤及び抗原虫剤等についても成分の含有量、単位の御回答をお願いします。

具体的には、「分類の情報」の「日本標準商品分類（中分類）」が「病原微生物及び内寄生虫用薬（生物学的製剤、消毒剤を除く。）（分類番号97）」の場合に、(23)～(26)、(28)～(31)、(33)～(36)に成分名、成分の含有量、単位を御回答ください。
 上記以外の場合は、(27)、(32)、(37)に成分名を御回答下さい。

(1ページ目)

分類の情報
 (9)の製品の分類に関する次の項目について御回答ください。
 (10)～(12)は上から順番に御回答ください。
 リストの中にも表示されない場合は、その項目は記載する必要はありません。(以下同様)。

日本標準商品分類	(中分類)	(10)	病原微生物及び内寄生虫用薬（生物学的製剤、消毒剤を除く。）（分類番号97）
（(9)の製品の分類を日本標準商品分類による）御回答ください。	(小分類)	(11)	ワルファテ（分類番号9711）
（(10)、(11)、(12)の順番に御回答ください。）	(細分類)	(12)	注射に用いるサルファテ（分類番号97111）
	(細々分類)	(13)	キノリン核を有するサルファテ（分類番号971111）

「日本標準商品分類（中分類）」が「病原微生物及び内寄生虫用薬（生物学的製剤、消毒剤を除く。）（分類番号97）」の場合※。
 ※抗生物質、合成抗菌剤、加えて駆虫剤及び抗原虫剤。

(2ページ目)

主成分の情報
 (8)の製品の主成分に関する次の項目について御回答ください。

主成分の情報 (8)の製品の主成分を最大6回成分まで御回答ください。 ・配合量が多い順番に御回答ください。 【「分類の情報」の(10)「日本標準商品分類（中分類）」が「病原微生物及び内寄生虫用薬（生物学的製剤、消毒剤を除く。）」の場合】 ・(20)～(26)、(28)～(31)、(33)～(36)に御回答ください。 ・(27)、(32)、(37)のリストから主成分を選択してください。 ・(20)、(28)、(30)のリストに主成分が無い場合は、(29)、(31)、(33)に該当主成分を入力してください。 ・主成分の含有量は(20)、(30)、(36)の単位で御回答ください。 ・単位は主成分欄に具なっても差し支えありません。 【主成分が上記以外の場合】 (27)、(32)、(37)に主成分を入力してください。	主成分1	(10)が「病原微生物及び内寄生虫用薬（生物学的製剤、消毒剤を除く。）」の場合 成分名 (23) スルファモノメトキシ リストに無い場合 (24) _____ 成分の含有量 (25) 0.2 単位 (26) mg/c (製品1gあたり)
	主成分2	(18)が「病原微生物及び内寄生虫用薬（生物学的製剤、消毒剤を除く。）」の場合 成分名 (28) トリメトプリム リストに無い場合 (29) _____ 成分の含有量 (30) 0.1 単位 (31) mg/c (製品1gあたり)
	主成分3	(10)が「病原微生物及び内寄生虫用薬（生物学的製剤、消毒剤を除く。）」の場合 成分名 (33) _____ リストに無い場合 (34) _____ 成分の含有量 (35) _____ 単位 (36) _____ 成分名 (37) _____
	上記以外の場合	成分名 (27) _____

「成分名」「成分の含有量」「単位」(23)～(26)、(28)～(31)、(33)～(36)の御回答をお願いします。

「日本標準商品分類（中分類）」が「病原微生物及び内寄生虫用薬（生物学的製剤、消毒剤を除く。）（分類番号97）」の以外場合。
 「成分名」(27)、(32)、(37)の御回答をお願いします。

(2) (様式2及び4) 「単位」

医療機器以外は首輪等特殊な剤型のものを除いては、製造量及び販売量等の単位はKg又はLとしてください。(例えば錠剤の場合に「個」を選択すると、1錠か1箱か具体的な量が不明となるため。)